

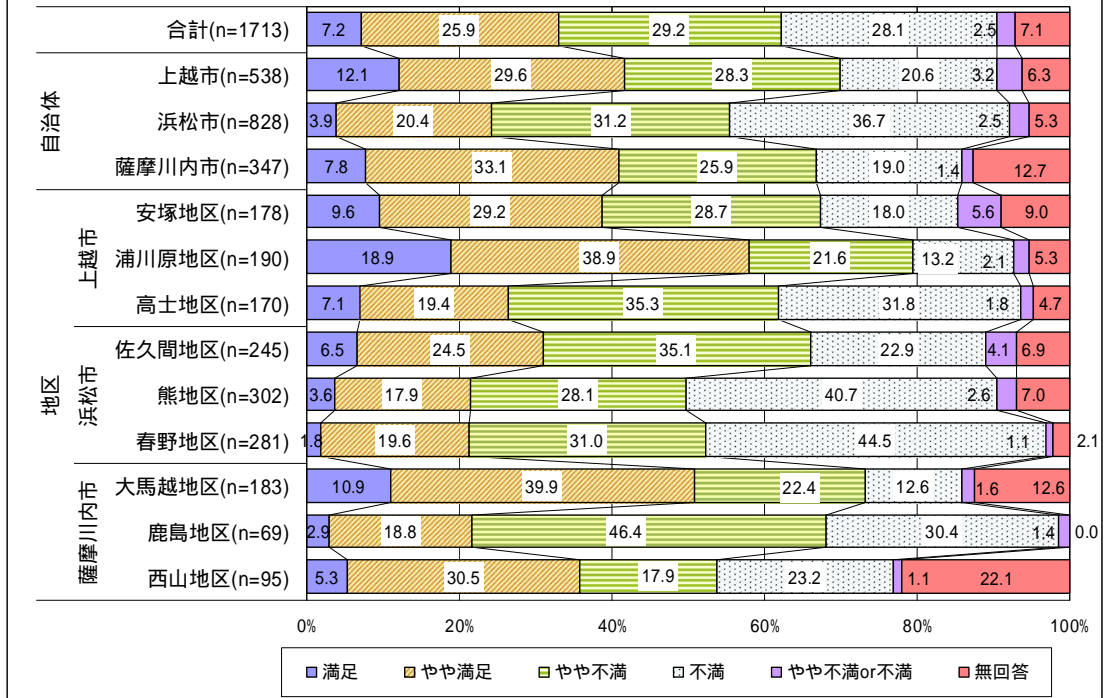
#### (4) 日常生活する生活機能・サービスについて

- ・ 除雪を除いてはいずれも不満との回答が満足を上回っており、特に買物と公共交通について満足している人の割合が少なかった。
- ・ 不満の理由については、施設の数についての回答が特に多くみられた。病院については単に施設の数だけではなく総合病院や診療科目などの内容について挙げる回答が多く、公共交通については、運行本数を挙げる回答が多かった。
- ・ 充実が必要なサービスについては、交通・移動サービス、独居高齢者の見守りサービス、介護サービスとの回答が全体的に多かったが、地区によって差が見られた。
- ・ 集落での共同作業については、伝統行事・祭りやイベントが多く、地区によっては、冠婚葬祭、道路などの維持管理、集会所の管理との回答も多くみられた。

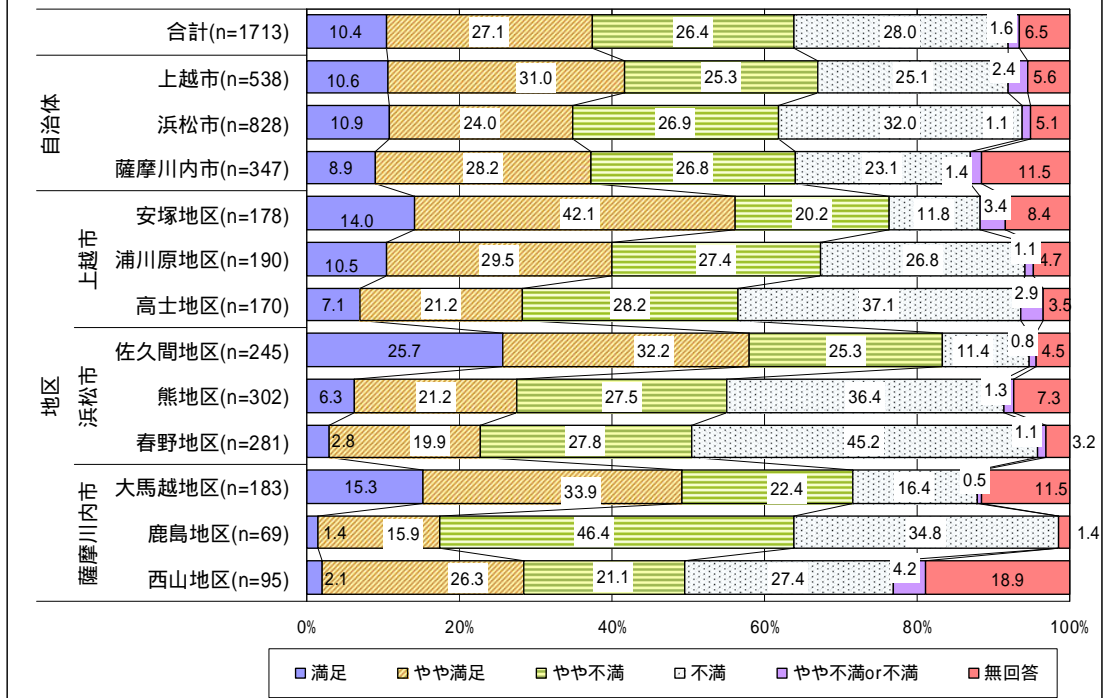
#### 生活機能・サービスの満足度

- ・ 買物については、「満足」あるいは「やや満足」が約3割、「不満」あるいは「やや不満」が約6割であった。上越市浦川原地区、薩摩川内市大馬越地区で満足との回答が多くみられた。
- ・ 医療（病院）については、「満足」あるいは「やや満足」が約4割、「不満」あるいは「やや不満」が約5割であった。上越市安塚地区、浜松市佐久間地区、薩摩川内市大馬越地区で満足との回答が多くみられた。
- ・ 福祉・介護については、「満足」あるいは「やや満足」が約4割、「不満」あるいは「やや不満」が約4割であり、福祉・介護サービスを利用していない若年層も含まれることから、無回答の割合が多かった。上越市、浜松市佐久間地区、薩摩川内市大馬越地区、鹿島地区で満足との回答が多くみられた。
- ・ 公共交通については、「満足」あるいは「やや満足」が約2.5割、「不満」あるいは「やや不満」が約6割であり、公共交通の利便性で不便との回答が多かったことからわかるように不満との回答が多かった。鉄道の利便性が他の地区に比べて良いとの結果であった上越市浦川原地区で満足との回答が他の地区に比べて多くみられた。
- ・ 文化・教育については、「満足」あるいは「やや満足」が約3割、「不満」あるいは「やや不満」が約5割であった。上越市浦川原区で満足との回答が多くみられた。
- ・ 除雪については、「満足」あるいは「やや満足」が過半数を占めた。

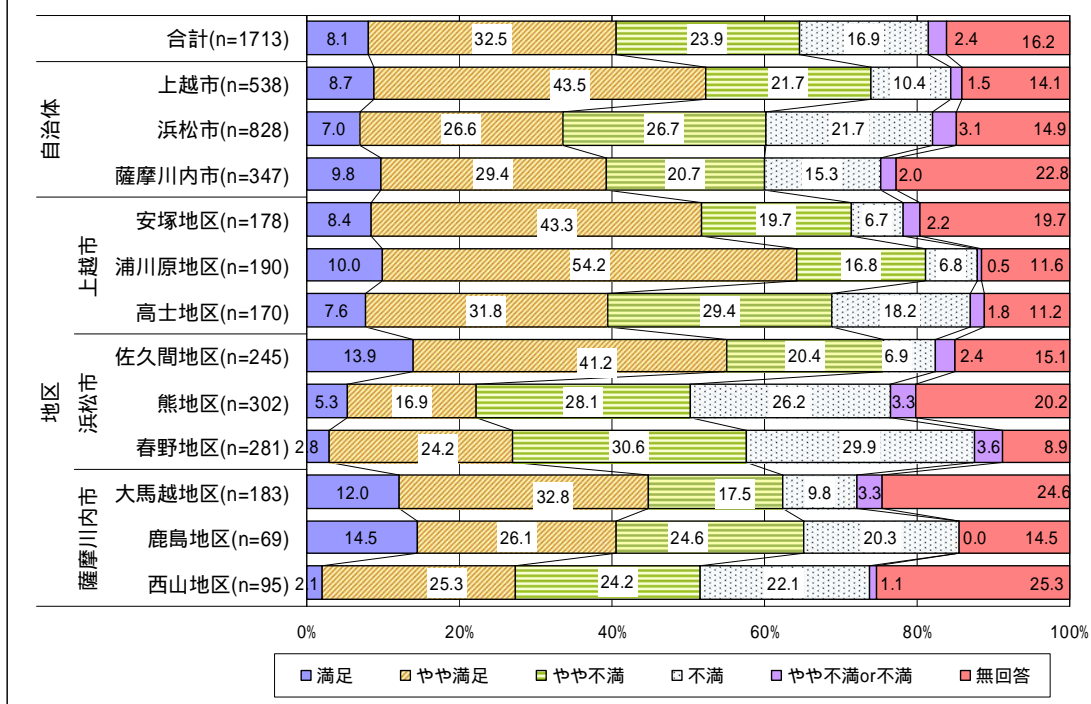
Q11-(1).(買物)生活機能・サービス満足度



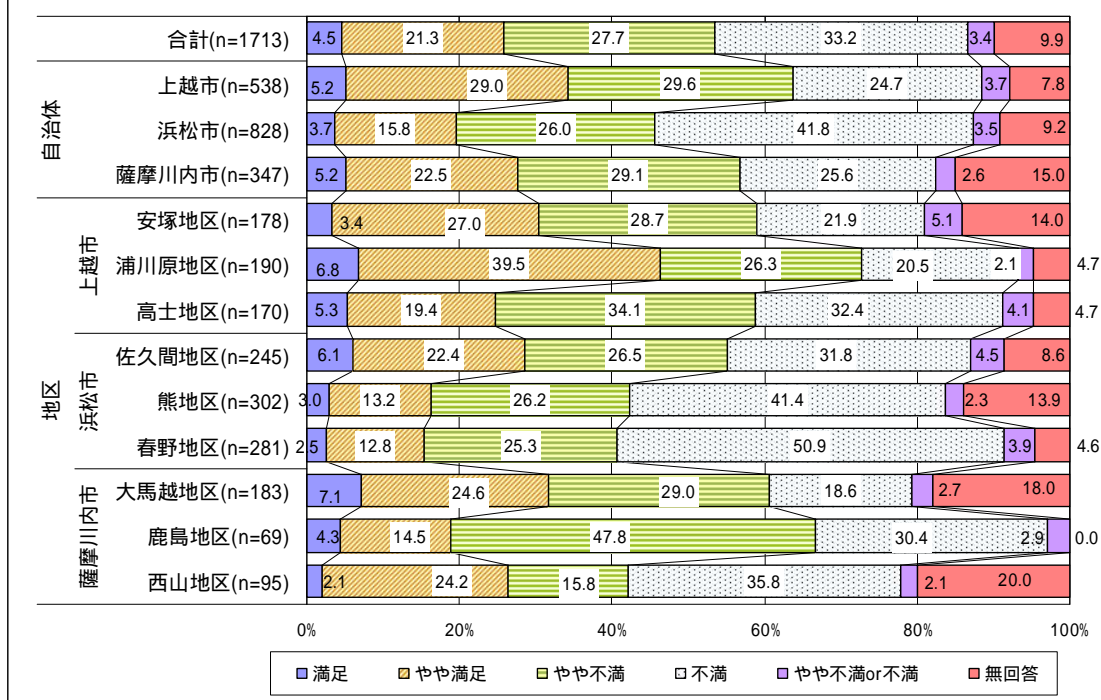
Q11-(2).(医療)生活機能・サービス満足度



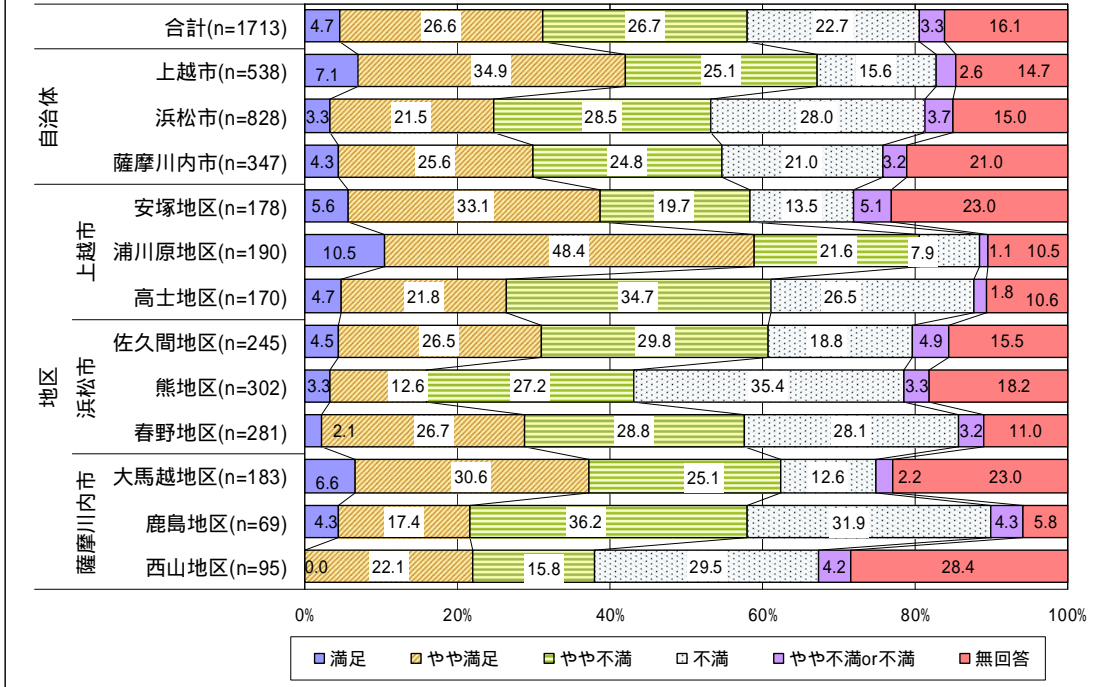
Q11-(3).(福祉・介護)生活機能・サービス満足度



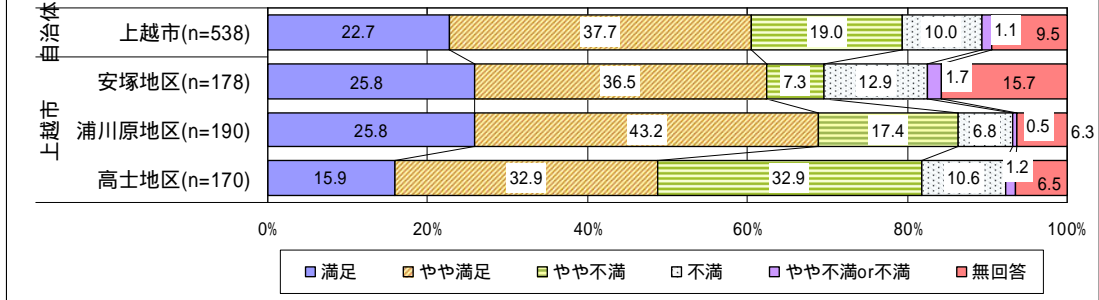
Q11-(4).(公共交通)生活機能・サービス満足度



Q11-(5).(文化・教育)生活機能・サービス満足度

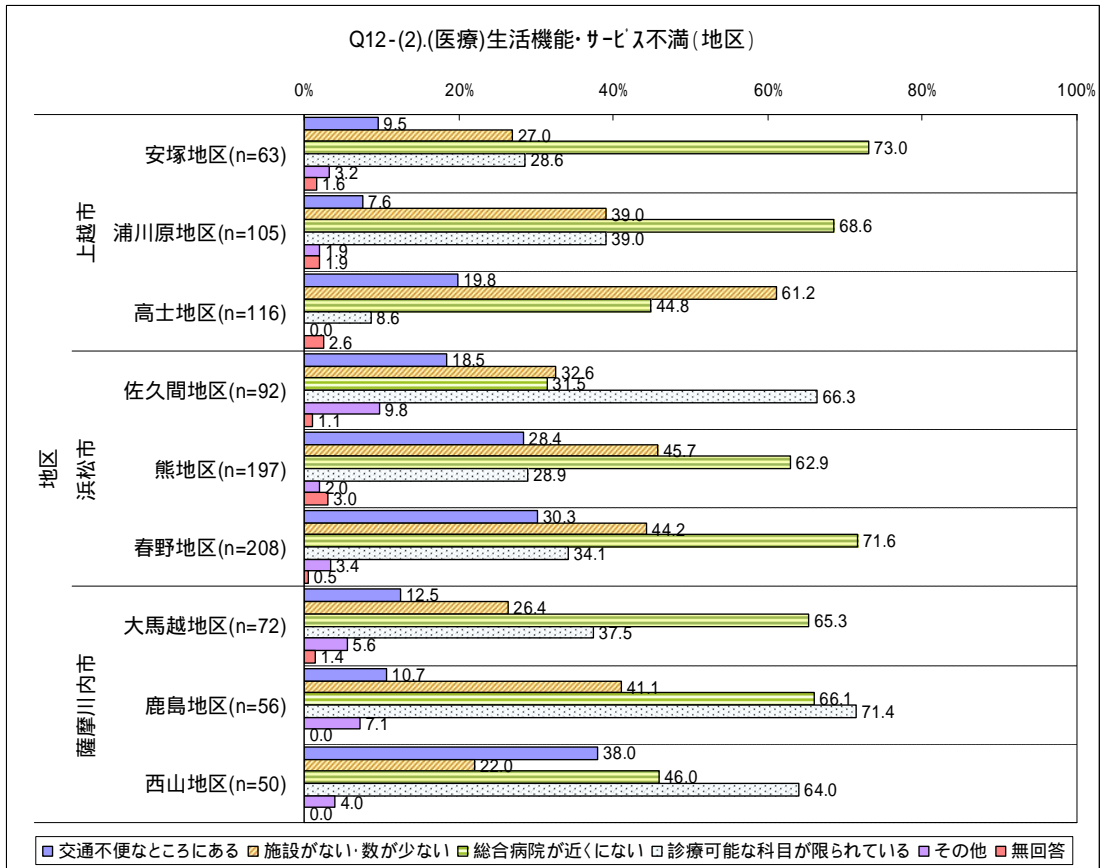
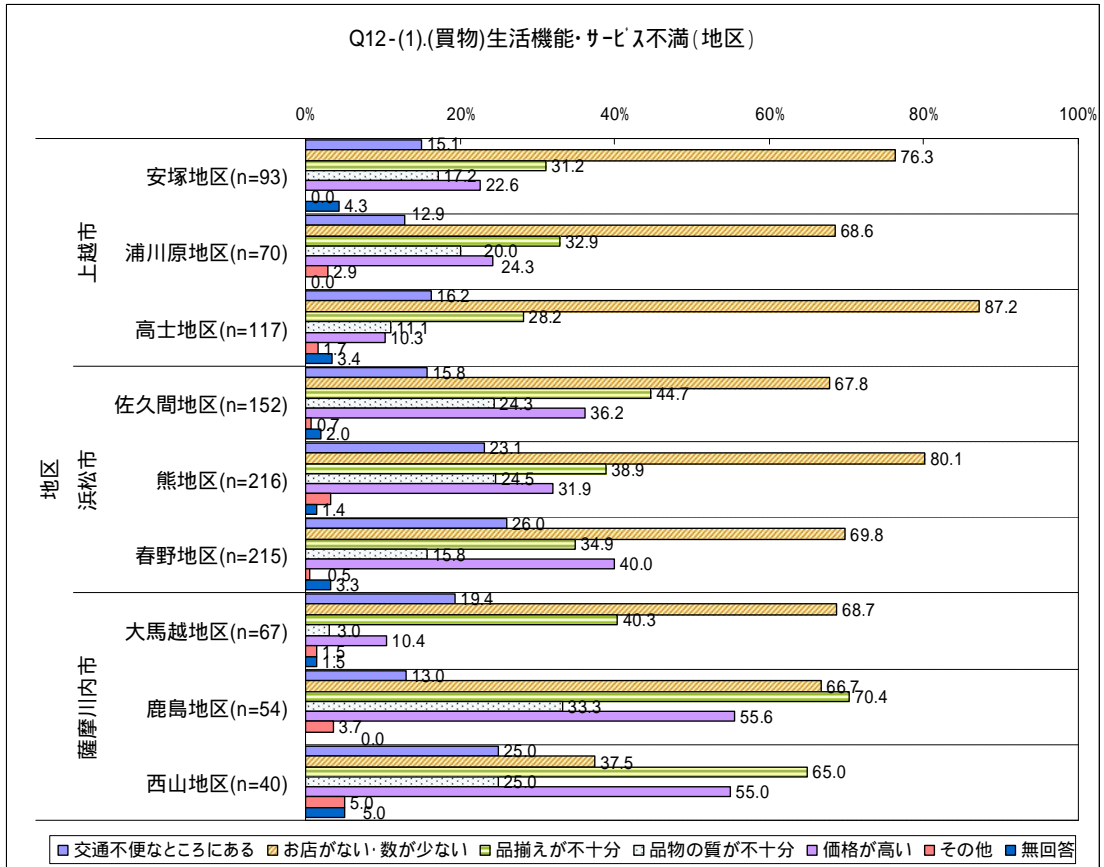


Q11-(6).(除雪)生活機能・サービス満足度

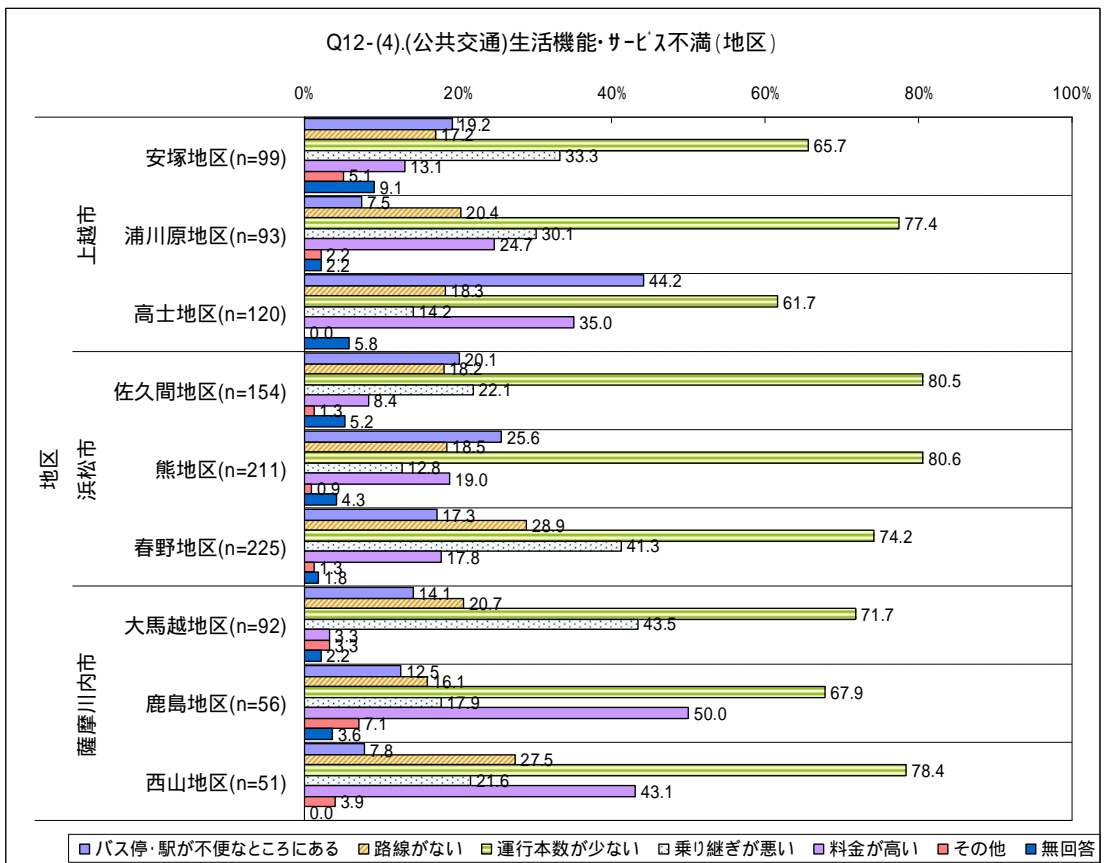
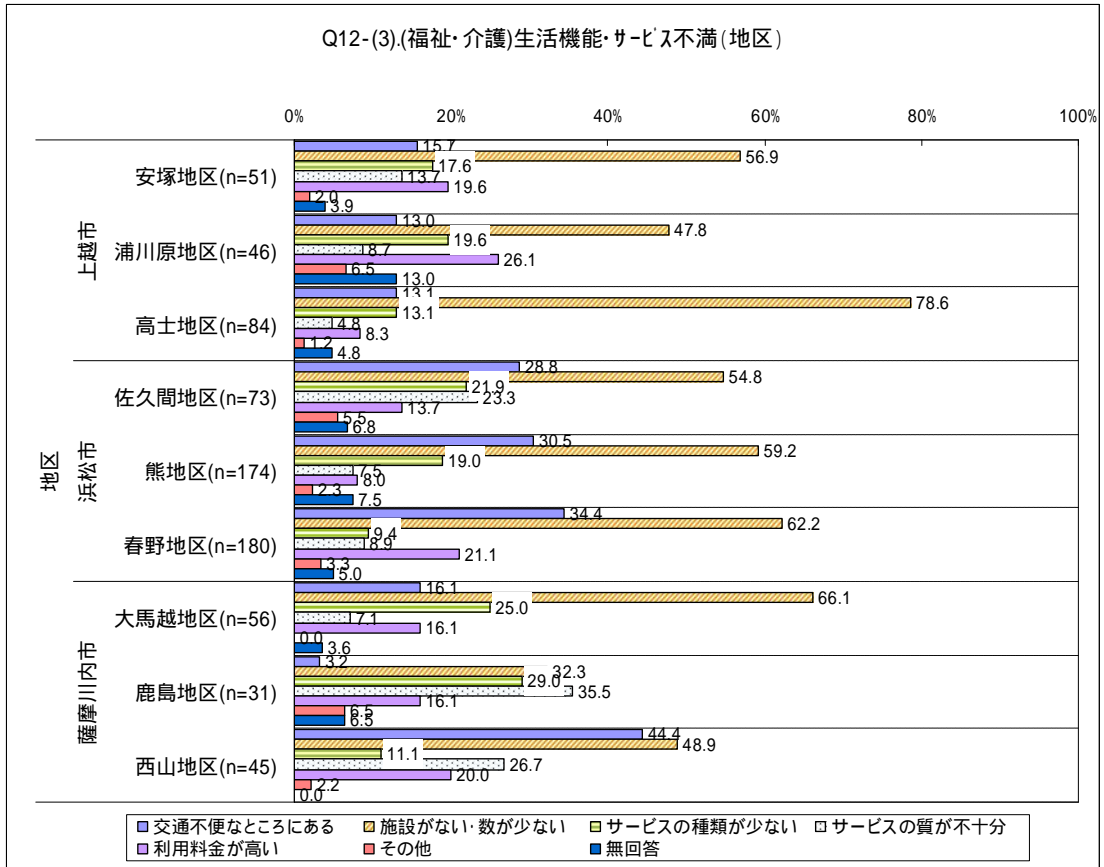


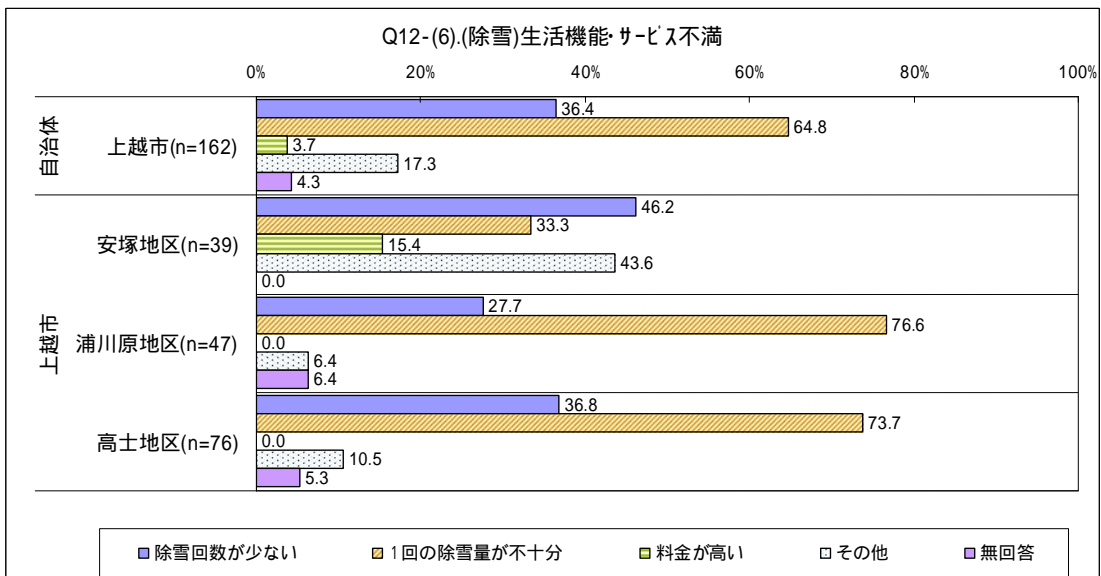
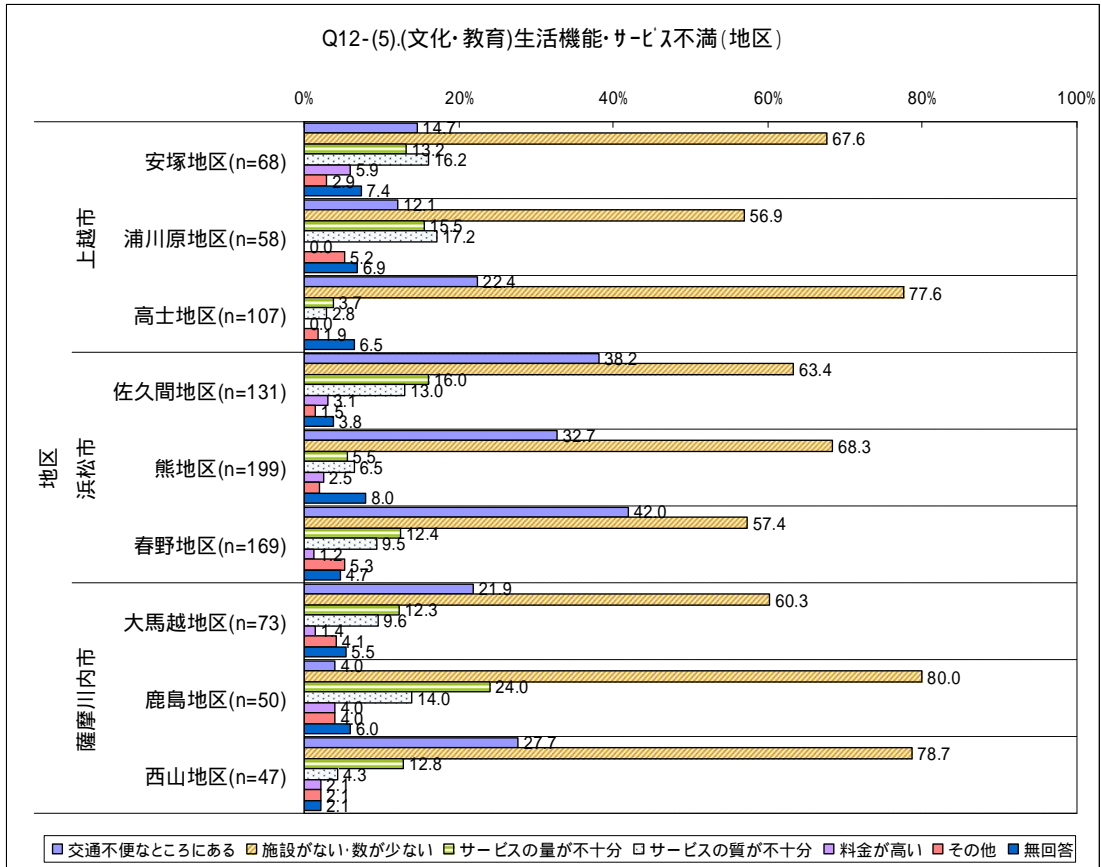
#### 生活機能・サービスが不満な理由

- ・ 買物については、「お店が少ない・数が少ない」との回答が大半の地区で約 7 割と最も多かった。次いで、「品揃えが不十分」との回答が多かった。薩摩川内市の島嶼部では「品揃えが不十分」「価格が高い」との回答が他地区に比べて多くみられた。
- ・ 医療については、「総合病院が近くにない」との回答が 6 割を超える地区が多かった。地区によって差が見られ、浜松市佐久間地区では、総合病院の距離を理由に挙げる人は 3 割にとどまったものの、逆に「診療可能な科目が限られている」との回答が 7 割弱と多くみられた。また薩摩川内市鹿島地区、西山地区においても「診療可能な科目が限られている」との回答が多くみられた。また、「その他」として医師不足、医師の高齢化などを挙げる回答が見られた。
- ・ 福祉・介護については、「施設がない・数が少ない」との回答が薩摩川内市鹿島地区以外の全ての地区で最も多かった。浜松市の 3 地区、薩摩川内市西山地区で「交通不便なところにある」との回答が多くみられた。
- ・ 公共交通については、「運行本数が少ない」との回答が全ての地区で 6~8 割と最も多かった。上越市、浜松市では「乗り継ぎが悪い」との回答も多くみられた。薩摩川内市の島嶼部では「料金が高い」との回答も多くみられた。
- ・ 文化・教育については、「施設が少ない・数が少ない」との回答が全ての地区で 5~7 割と最も多かった。次いで、「交通不便なところにある」との回答が多かった。
- ・ 除雪については、浦川原地区、高土地区では「1 回の除雪量が不十分」との回答が約 7 割と多く安塚地区では「除雪回数が少ない」との回答のほうが多かった。「その他」の回答としては、朝の除雪の時間帯が遅い、などの回答がみられた。





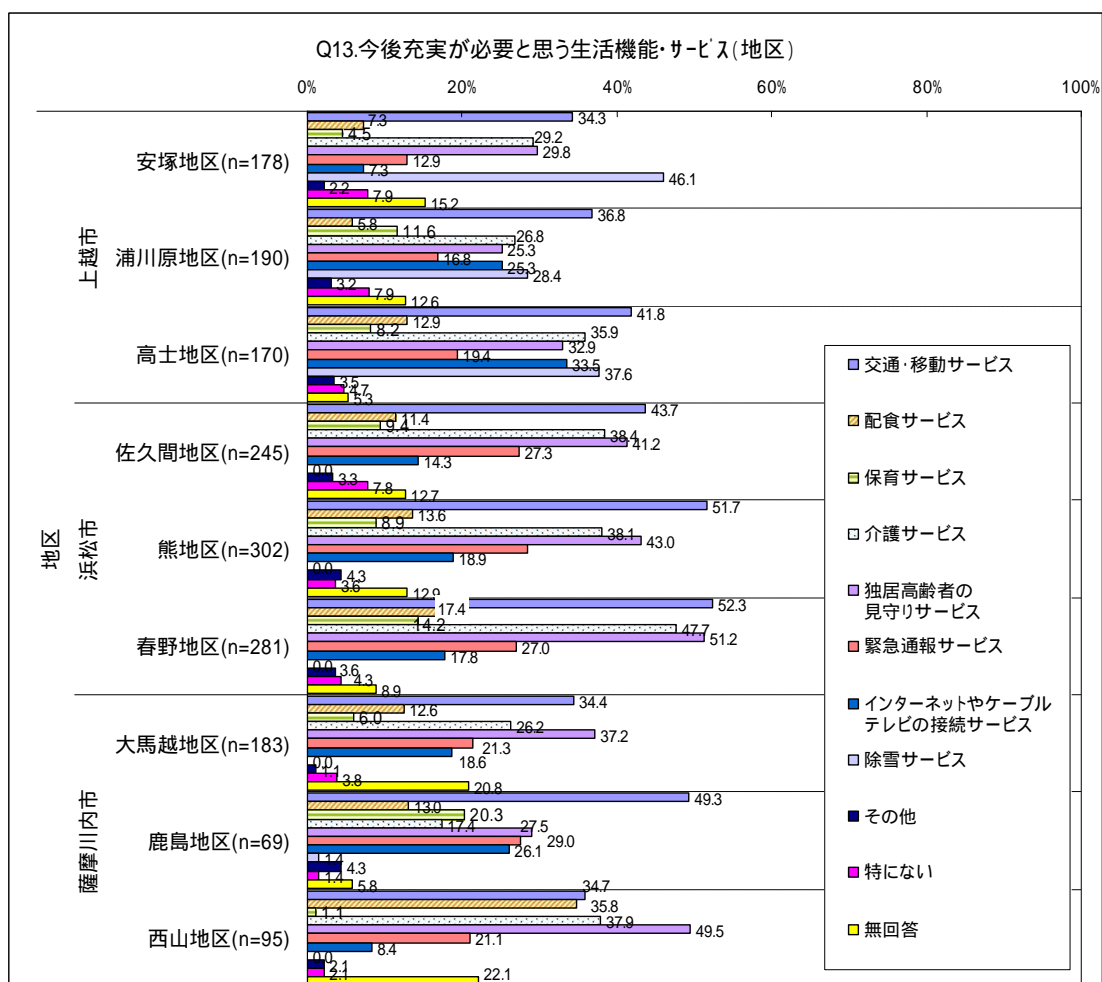






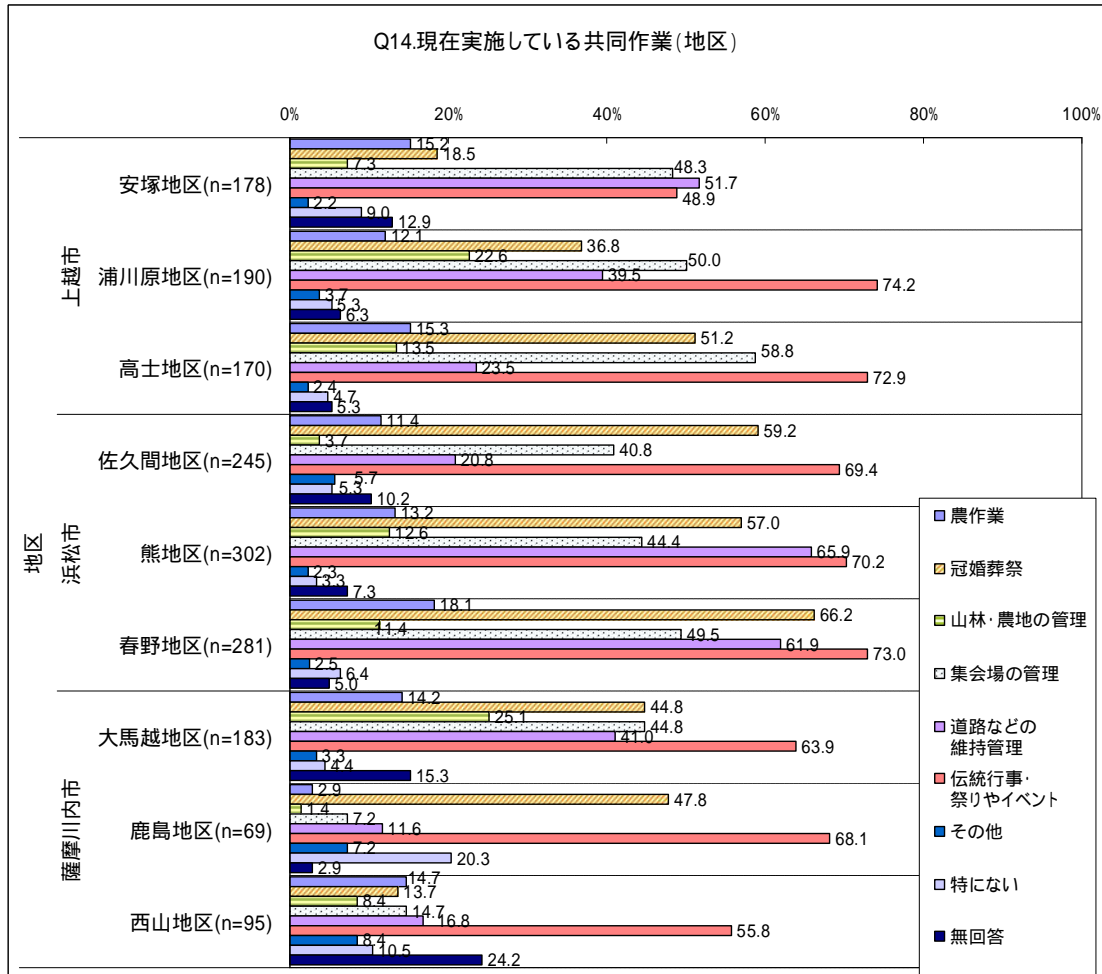
今後充実が必要だと思う生活機能・サービス

- ・ 「交通・移動サービス」、「独居高齢者の見守りサービス」、「介護サービス」がいずれの地区でも上位に挙がった。上越市では「除雪サービス」が、浜松市では「緊急通報サービス」が、薩摩川内市の西山地区では「配食サービス」も回答が多くみられた。
- ・ 「その他」として複数あった回答は、医療サービスの充実、AEDの設置等の医療関係の回答や、遊び場所の整備や教育の充実等の子どもを対象とした機能・サービスを求める回答、道路整備、緊急用のヘリポート等のインフラに関する回答、働く場所の確保などに関する回答、携帯電話や地上デジタル放送が受信できるようにしてほしい、などであった。



現在実施している共同作業

- ・ 上越市安塚地区以外では、「伝統行事・祭りやイベント」が最も多くみられた。「冠婚葬祭」「道路などの維持管理」との回答が浜松市で多く、「集会所の管理」との回答が上越市で多くみられた。
- ・ 「その他」としては、水道の維持管理、草取り、清掃、などの回答が複数みられた。

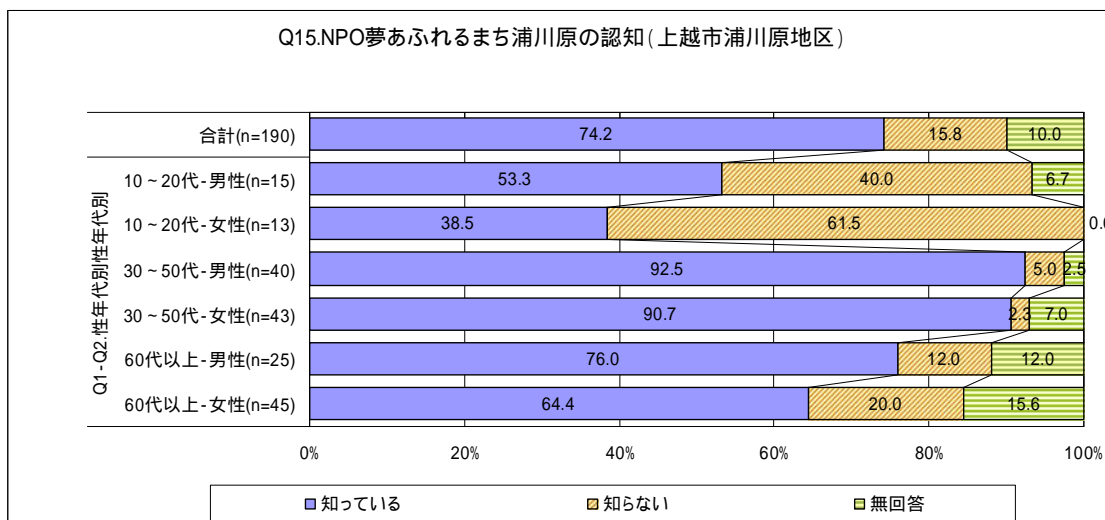
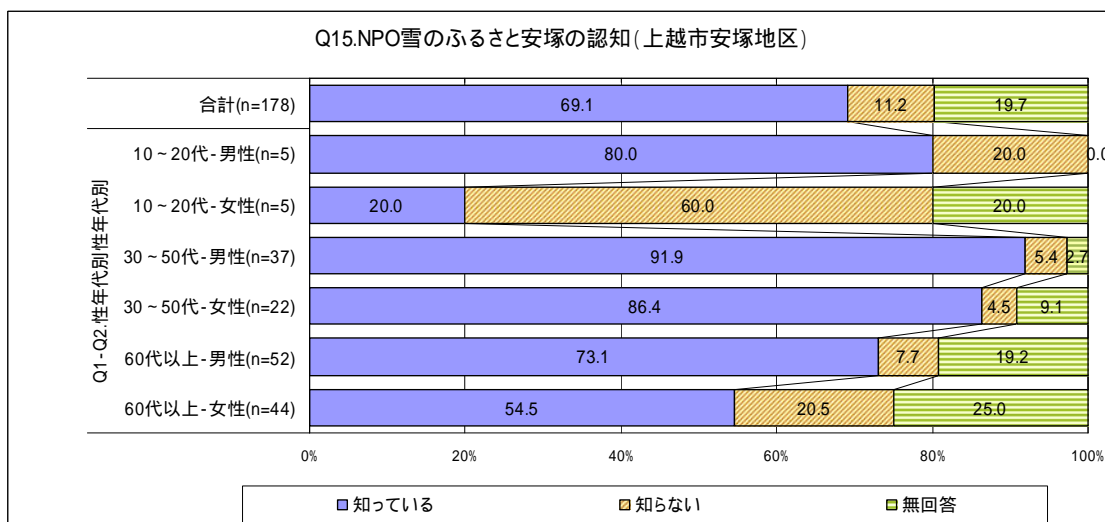


(5) 地域づくり活動について

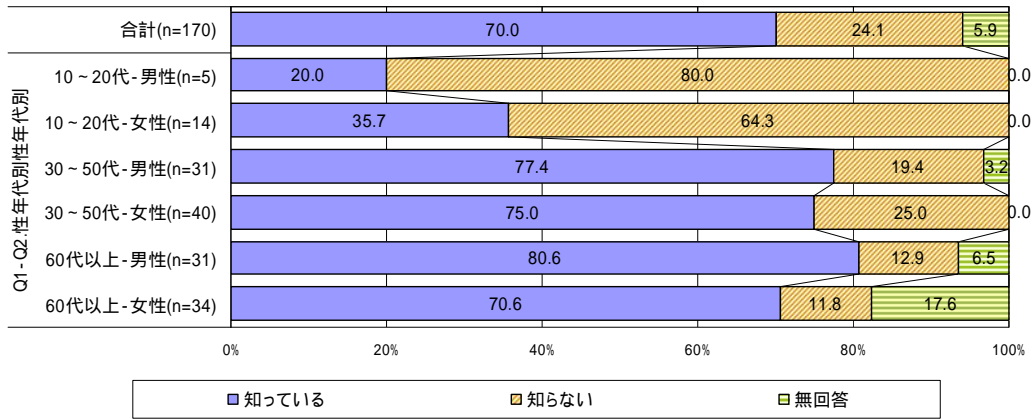
- ・ 地域づくり活動を行う組織については、上越市では若い世代での認知状況が低かった。
- ・ 地域づくり活動への参加状況は地域によって差が見られたものの過半数は参加したことがあるとの回答であった。参加した内容としては、イベント・行事・文化活動や環境・美化活動であり、日常的に行われる活動よりも1年に数回、イベント的に行われる活動への参加が多かった。
- ・ 活動内容にかかわらず、人や地域や郷土のために貢献することができたことを参加してよかったと挙げる人が多く、また活動のやりがいがあるとの回答も活動内容にかかわらずあった。
- ・ 活動度合いが多いほど負担を感じる傾向にあったが、一方で毎日参加している人で強く負担を感じている人は少なく、逆に数年に1回程度しか参加していない人は負担を感じる人が多くみられた。
- ・ 地域で住民の組織が中心となって取り組むべき活動としては、イベント・行事・文化活動、防災・防犯・交通安全活動、健康・福祉活動等が多く、これまで参加した活動と同じものが多かった。

組織の認知状況

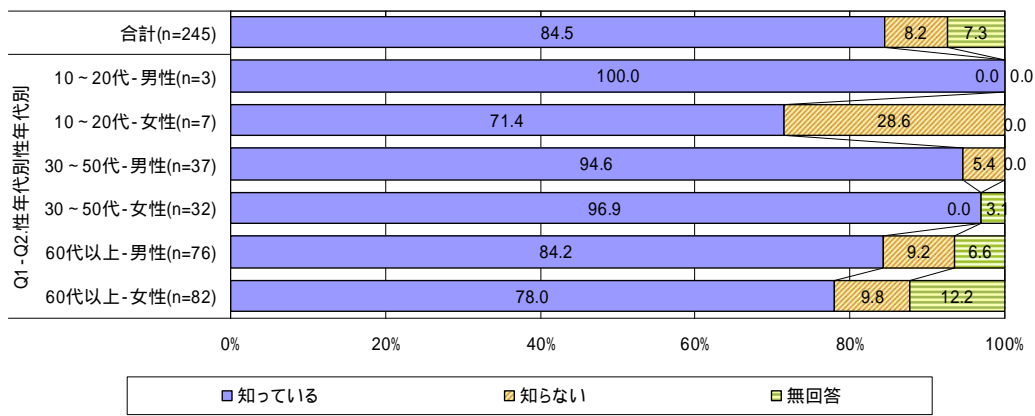
- ・ 浜松市の2つのNPOについて「知っている」との回答が8割強と多くみられた。
- ・ 10~20代が「知っている」との回答が他の年代に比べて少ない傾向にあった。



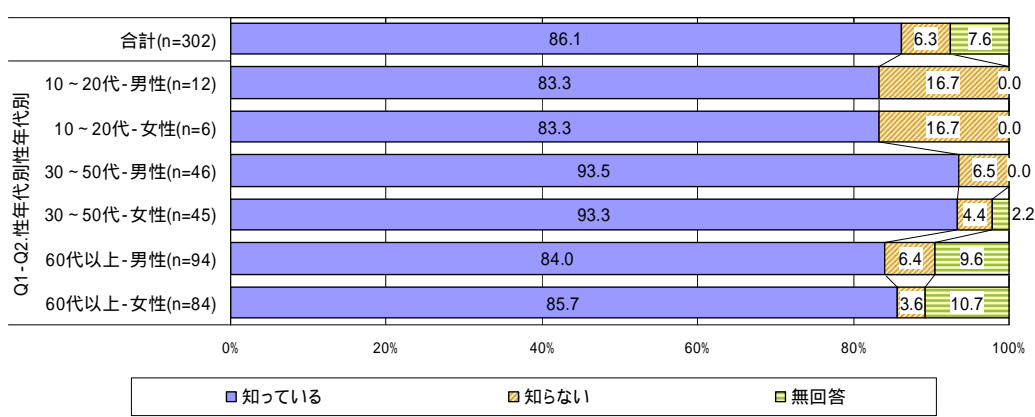
Q15.高土地区振興協議会の認知(上越市高土地区)



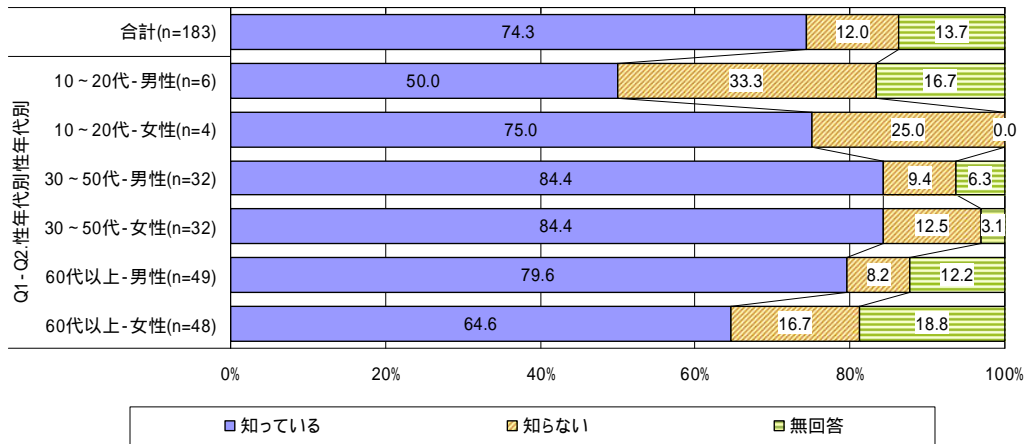
Q15.NPOがんばらまいか佐久間の認知(浜松市佐久間地区)



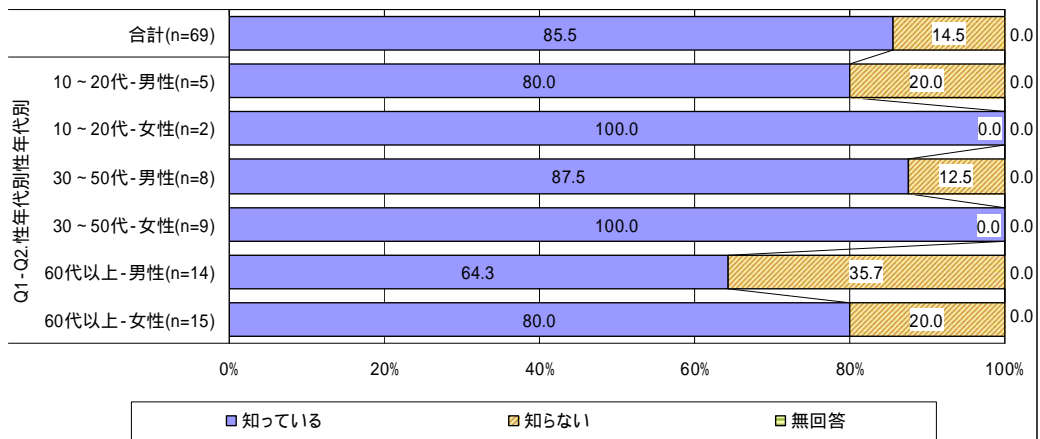
Q15.NPO夢未来くんまの認知(浜松市熊地区)



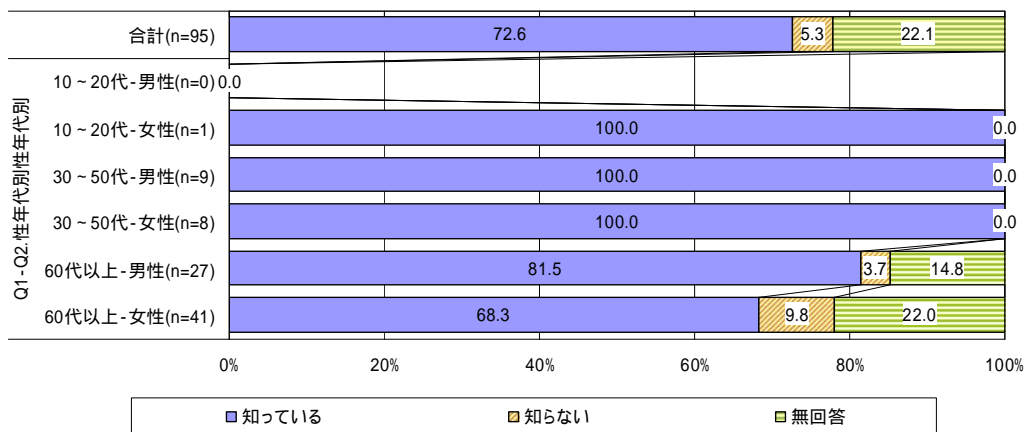
Q15.大馬越地区コミュニティ協議会の認知(薩摩川内市大馬越地区)



Q15.鹿島地区コミュニティ協議会の認知(薩摩川内市鹿島地区)

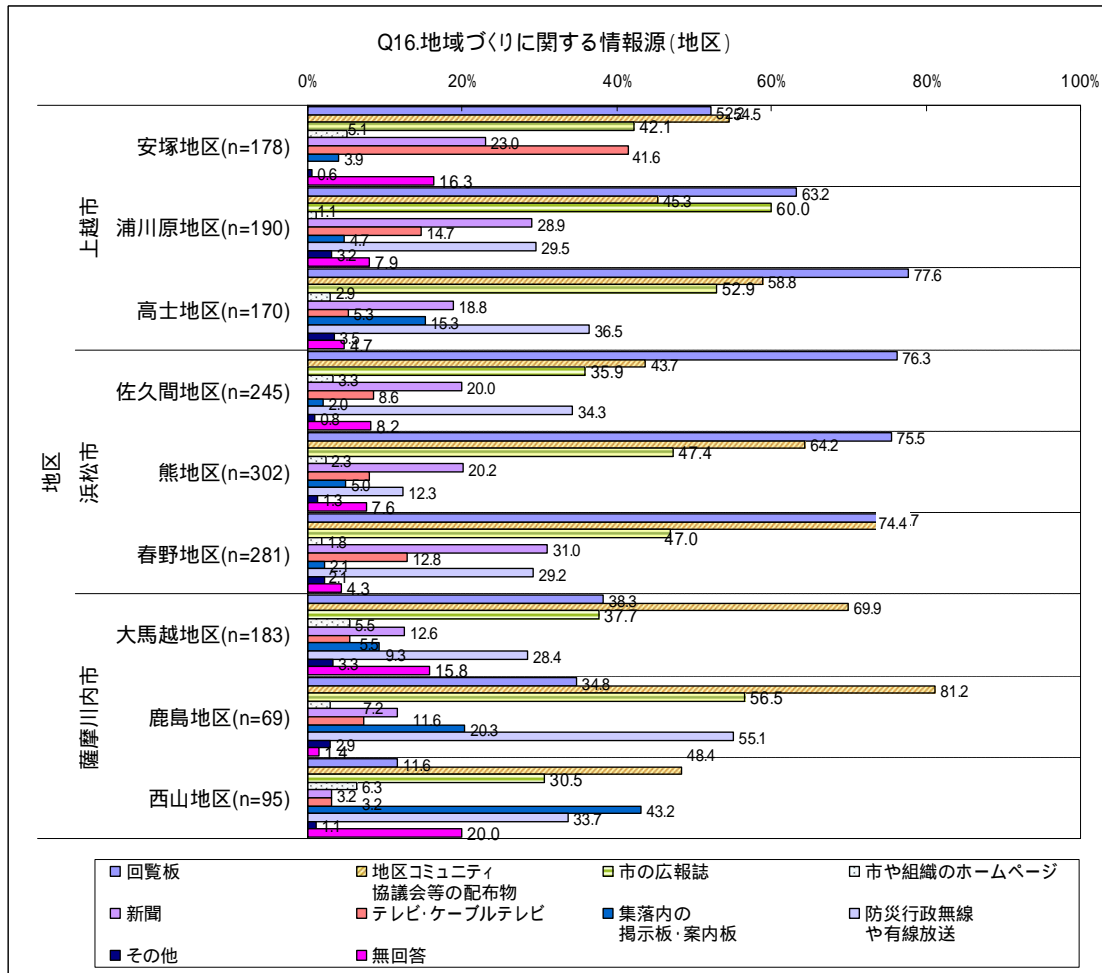


Q15.西山地区コミュニティ協議会の認知(薩摩川内市西山地区)



地域に関する情報の情報源

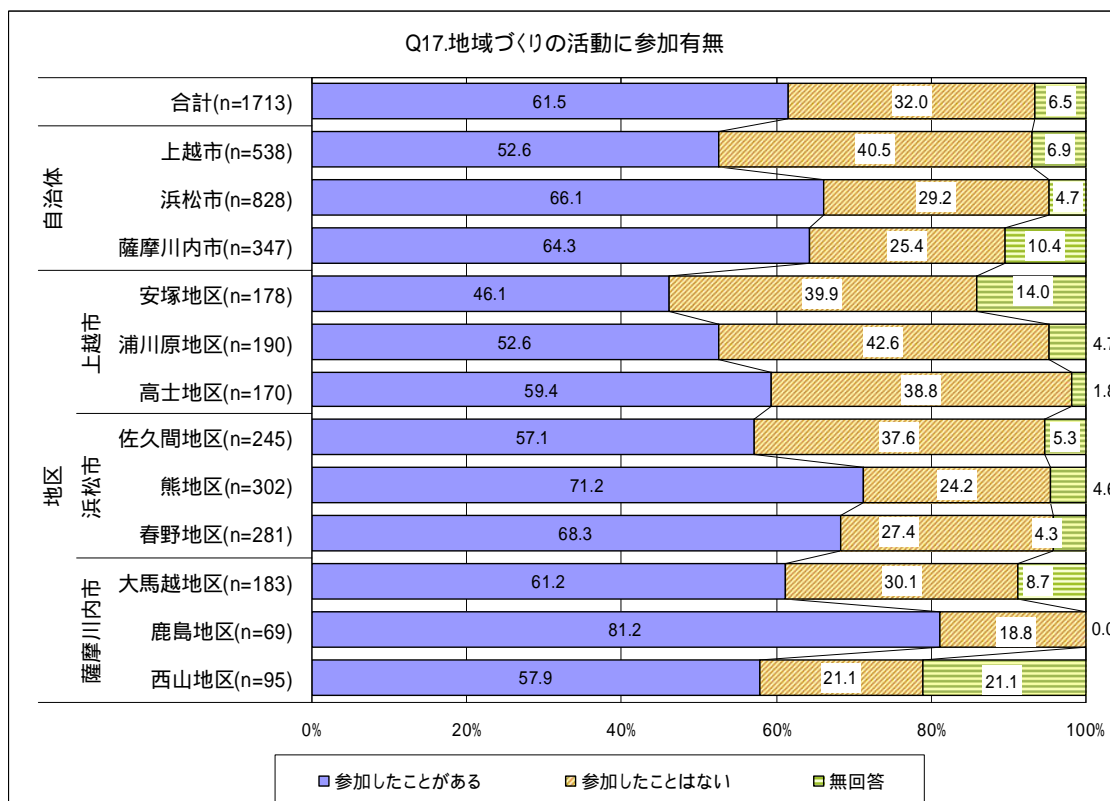
- ・ 上越市、浜松市では「回覧板」との回答がいずれの地区でも多く、薩摩川内市では「地区コミュニティ協議会の配布物」との回答が多くみられた。
- ・ 上越市安塚区で「テレビ・ケーブルテレビ」との回答が多く、薩摩川内市鹿島地区で「防災行政無線や有線放送」との回答が多くみられた。
- ・ 「その他」の回答としては、家族や知人・友人との会話との回答が複数見られた。





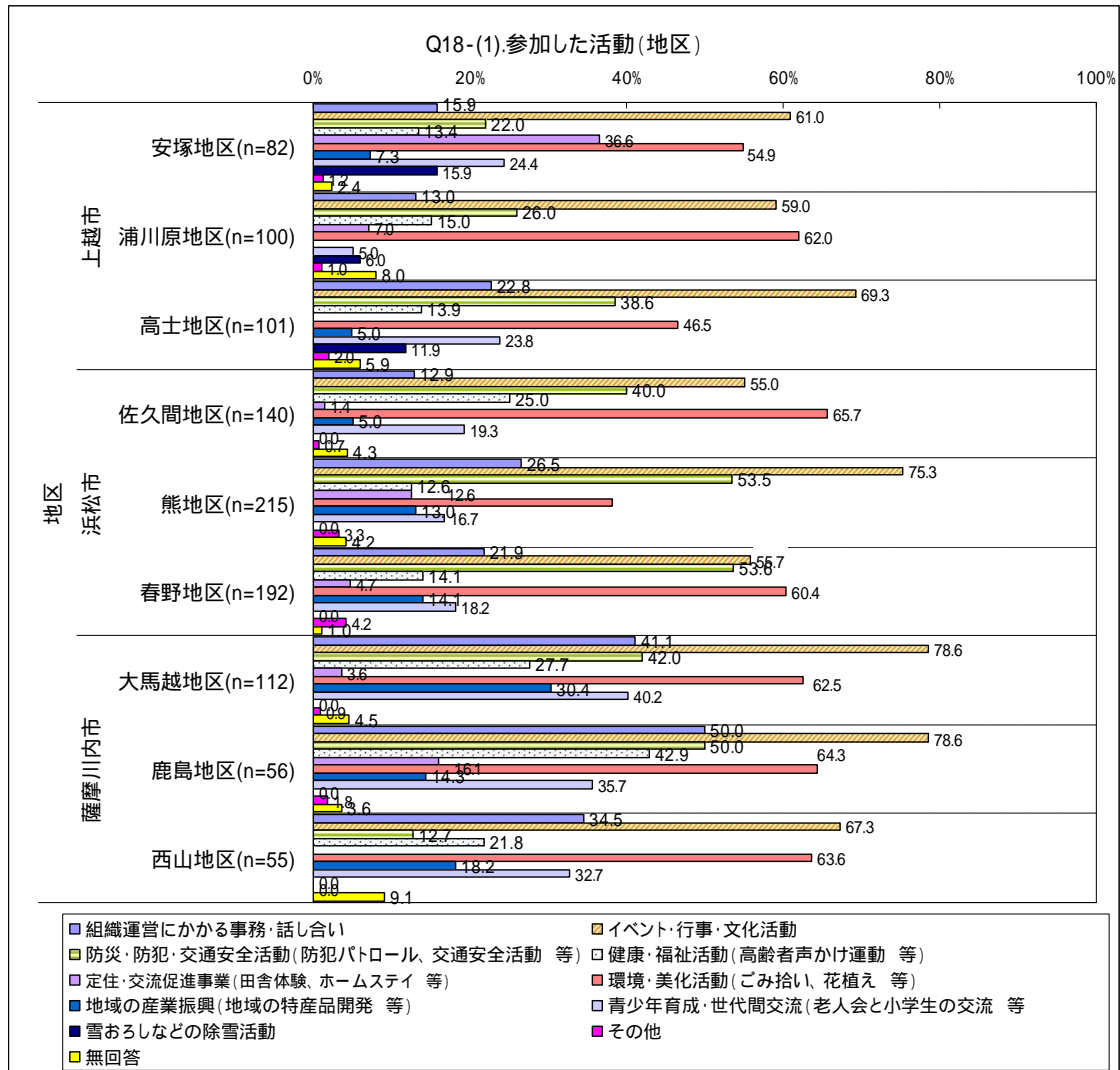
地域づくり活動への参加状況

- 全体としては過半数が「参加したことがある」との回答であり、上越市安塚地区で他に比べて少なく、薩摩川内市鹿島地区で他に比べて多くみられた。



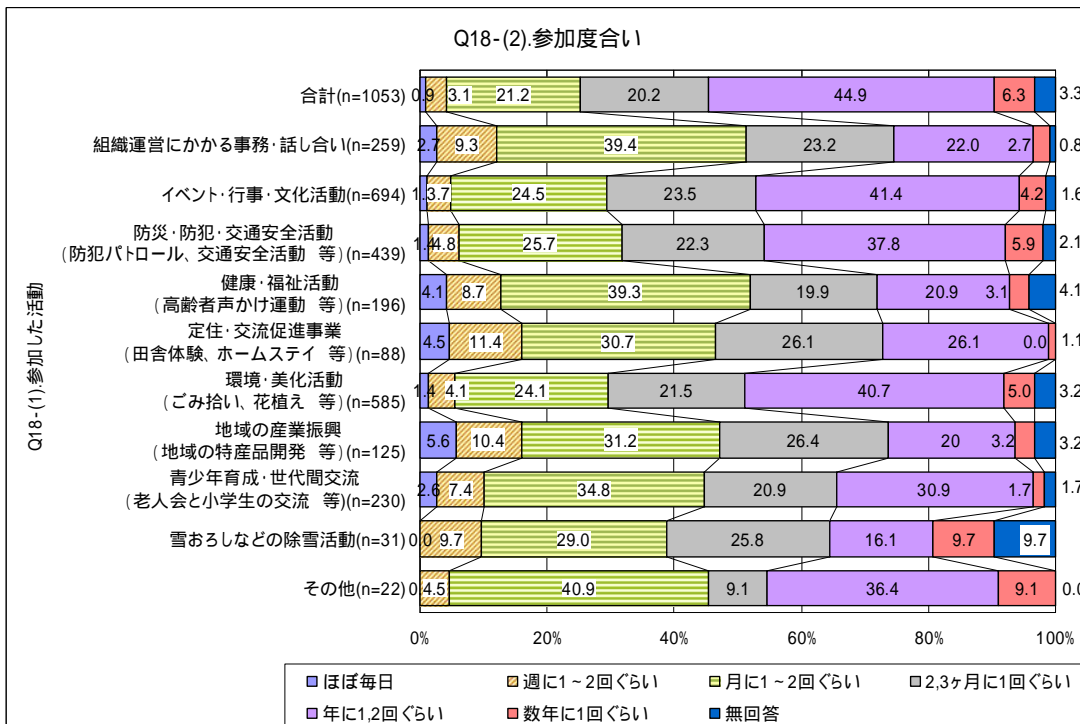
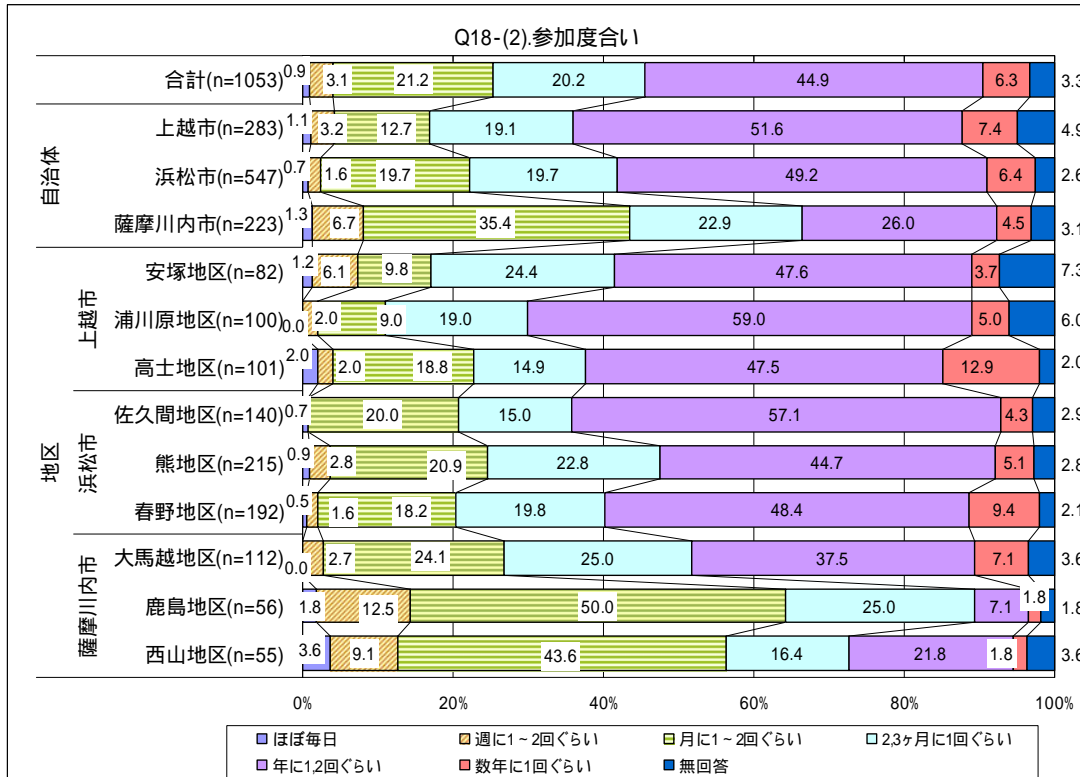
- 1 - 1 参加した活動

- ・ 「イベント・行事・文化活動」、「環境・美化活動」との回答がいずれの地区でも多くみられた。「防災・防犯・交通安全活動」は浜松市で多くなっており、「青少年育成・世代間交流」は薩摩川内市で多くみられた。



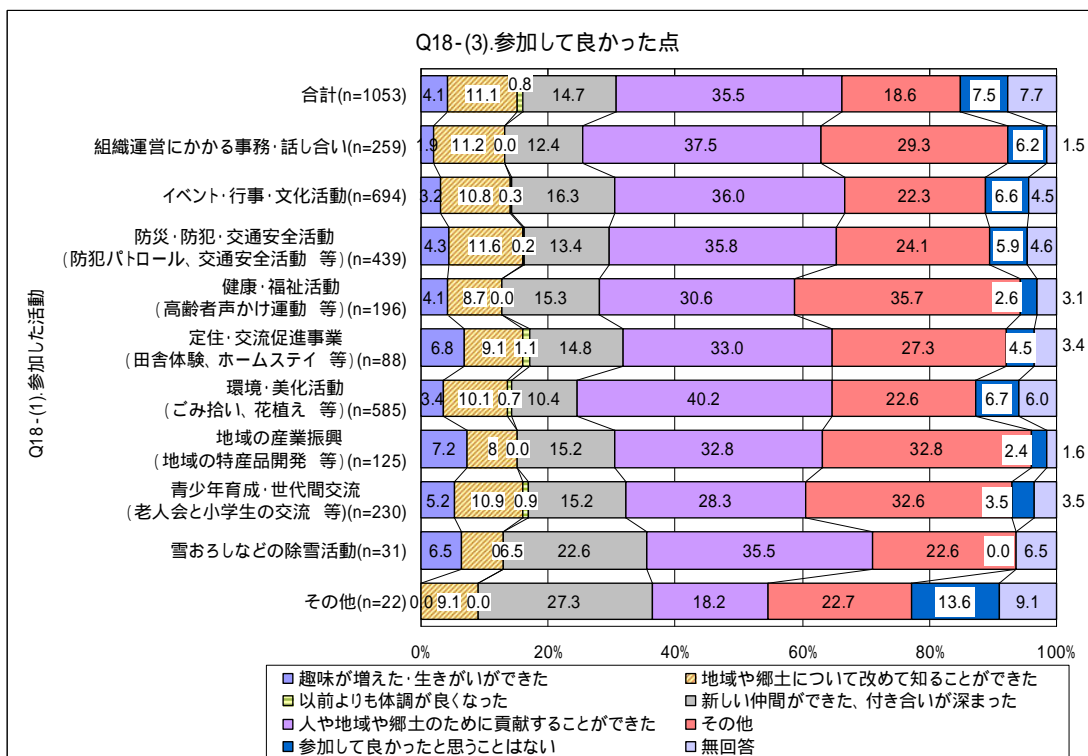
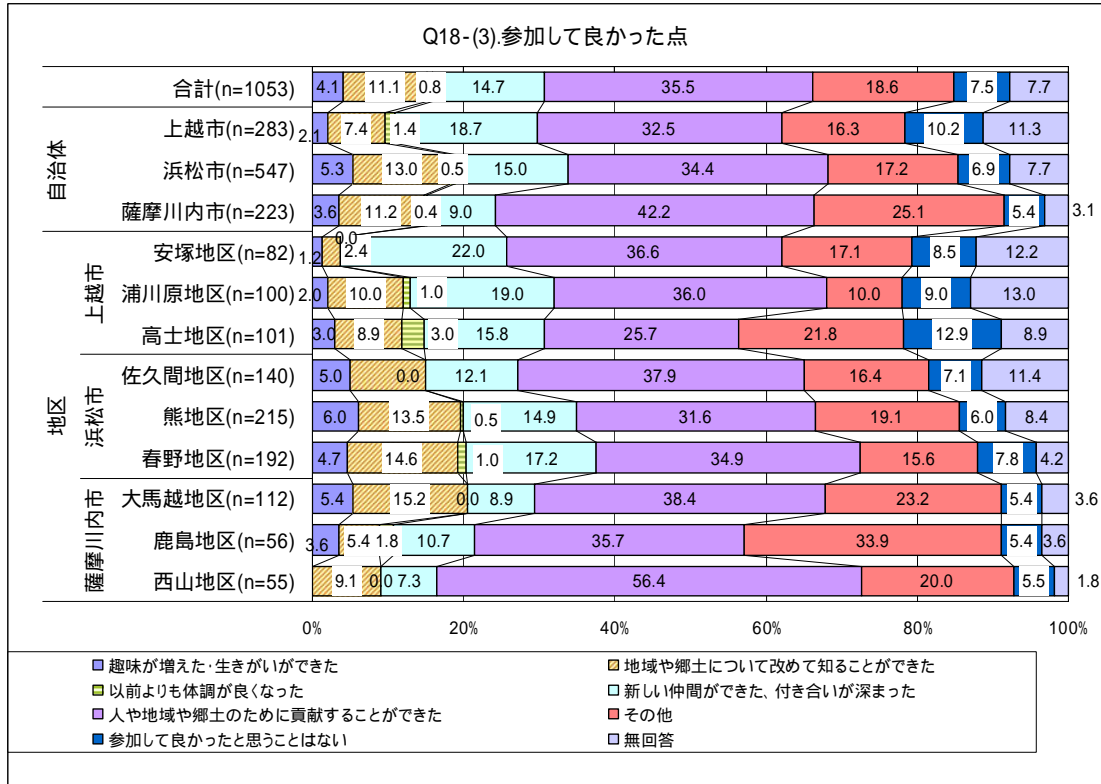
- 1 - 2 参加度合い

- ・ 上越市、浜松市、薩摩川内市大馬越地区では「年に 1,2 回ぐらい」との回答が約半数あったが、薩摩川内市鹿島地区、西山地区では、「月に 1~2 回」との回答が約半数、「週に 1,2 回」との回答が約 1 割と、参加度合いが高かった。
- ・ 参加した活動内容との関係で見ると、「健康・福祉活動」、「組織運営にかかる事務・話し合い」、「定住・交流促進事業」、「地域の産業振興」、「青少年育成、世代間交流」などに参加している人が、比較的参加度合いが高かった。



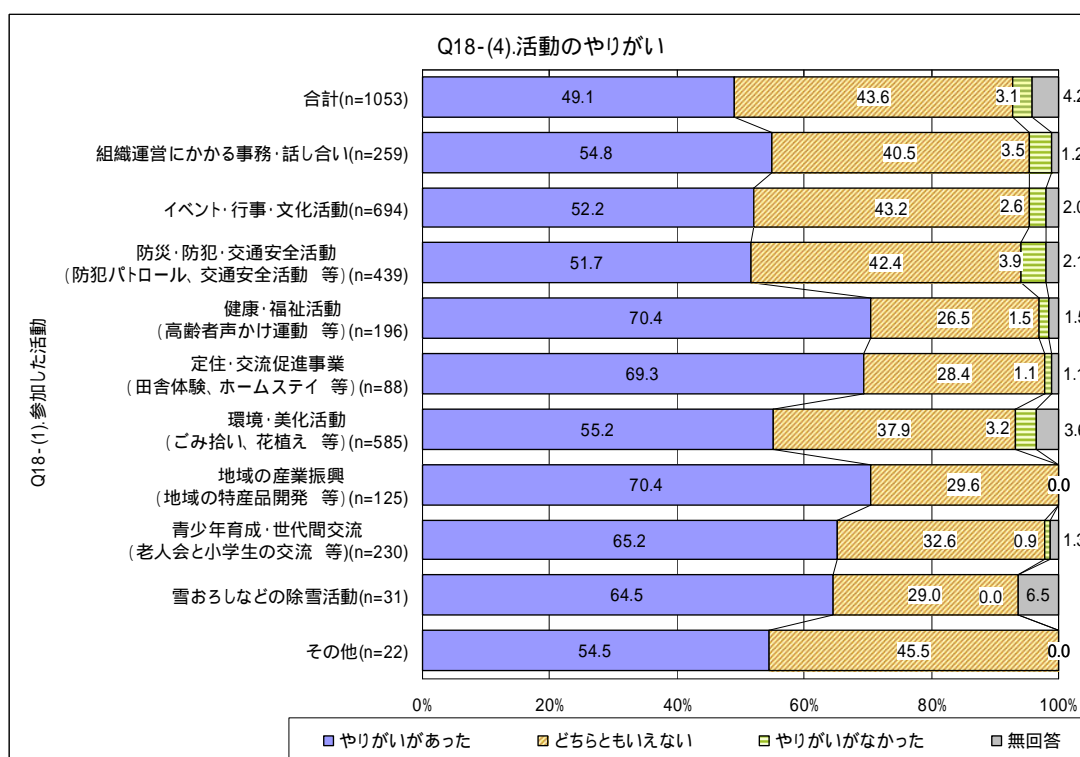
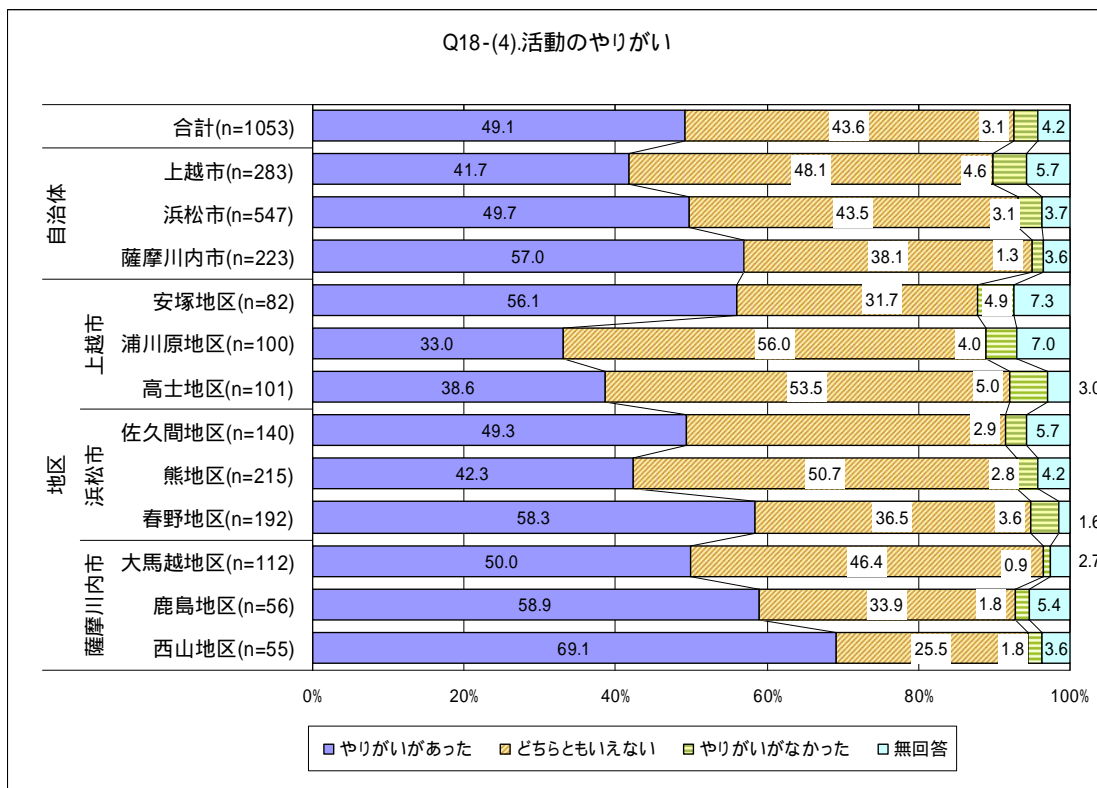
- 1 - 3 参加してよかった点

- ・ 「人や地域や郷土のために貢献することができた」との回答が最も多くなっており、次いで「新しい仲間ができた、付き合いが深まった」、「地域や郷土について改めて知ることができた」との回答であった。
- ・ 参加した活動内容との関係では、大きな傾向の差はみられなかった。



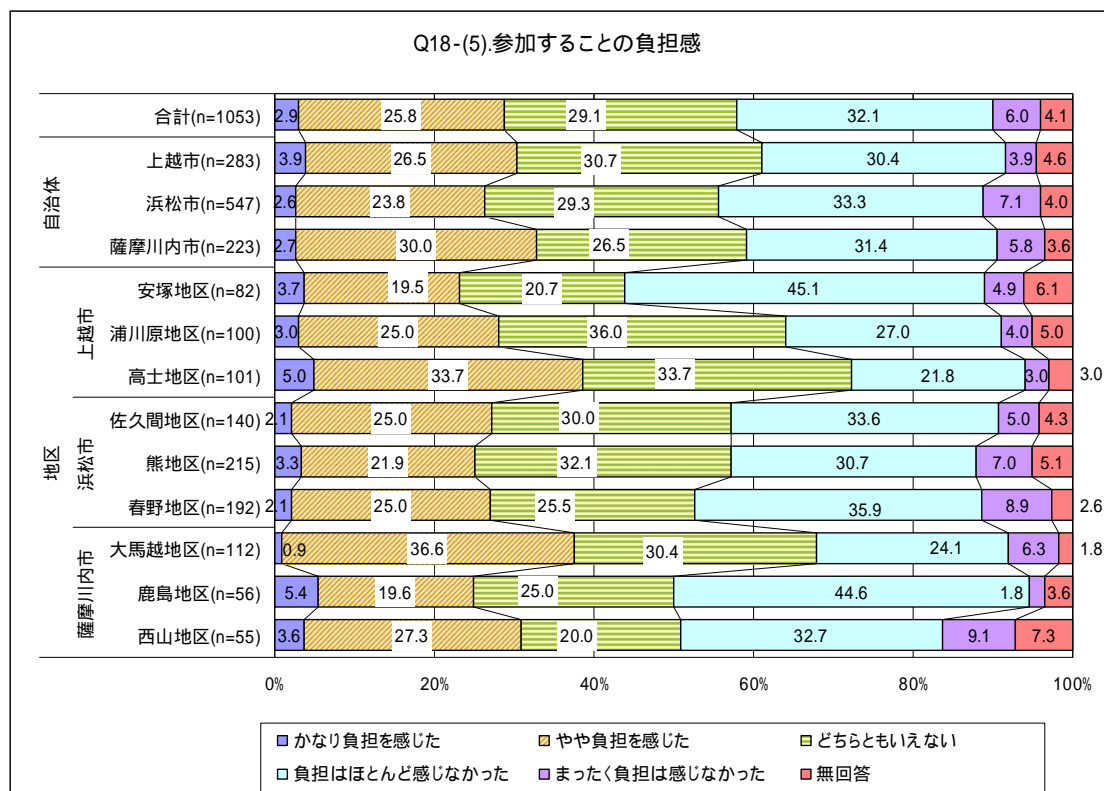
- 1 - 4 活動のやりがい

- ・ 活動のやりがいについては、薩摩川内市、浜松市、上越市の順に「やりがいがあった」との回答が多くみられた。「やりがいなかった」との回答はいずれの地区でも少なかった。
- ・ 参加した活動内容との関係では、多少の差はあったもののいずれの活動についても「やりがいがあった」との回答が過半数を超えており、「やりがいなかった」との回答は少なかった。

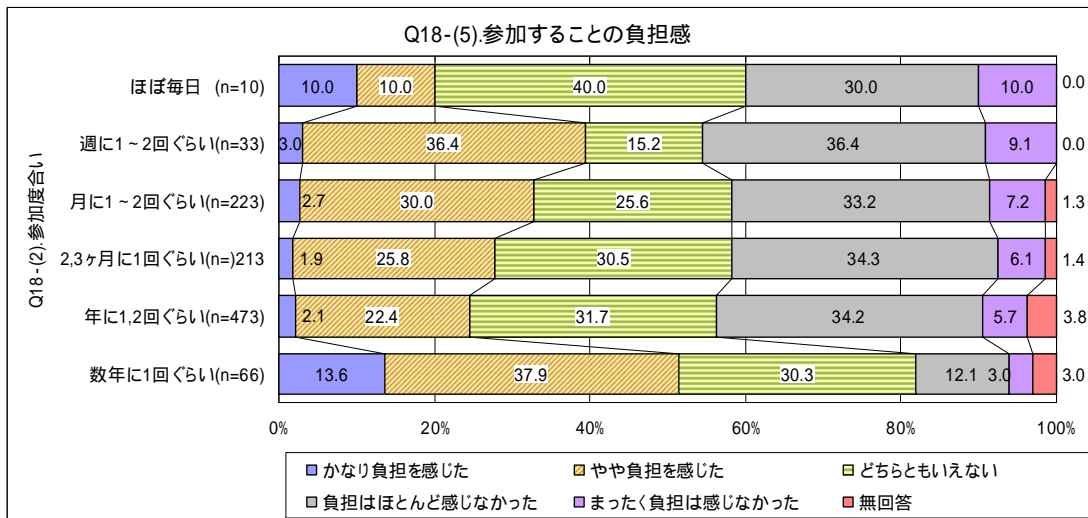
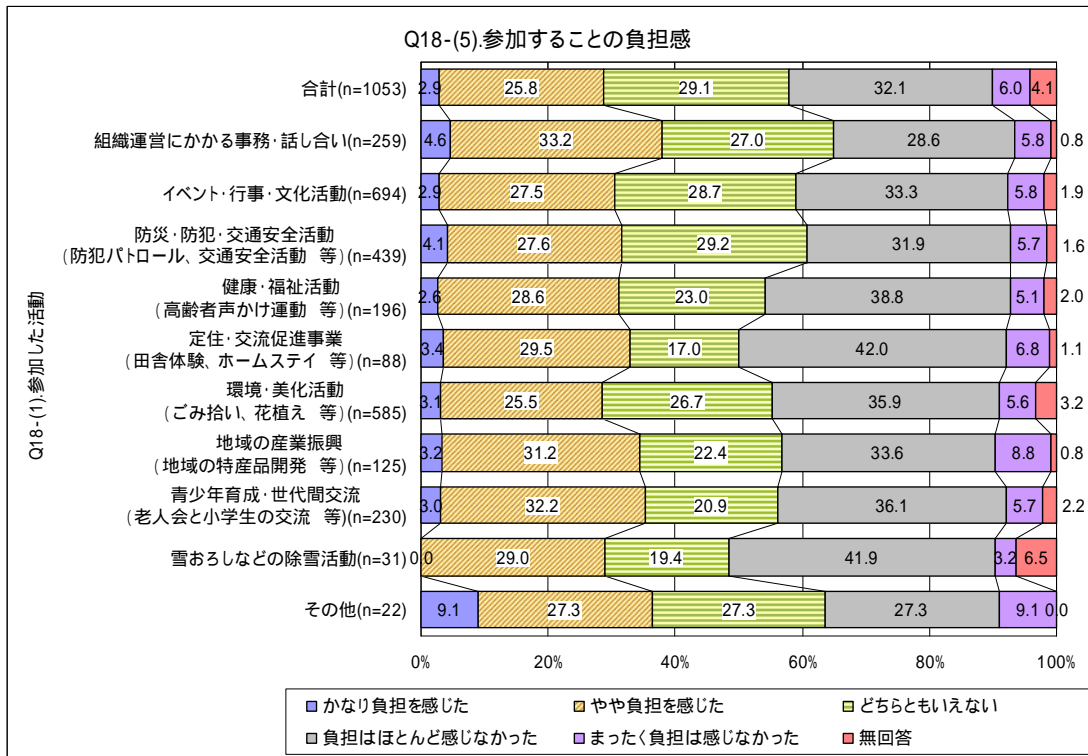


- 1 - 5 参加の負担感

- ・ 全体で見ると、「かなり負担を感じた」「やや負担を感じた」との回答が3割弱、「負担はほとんど感じなかった」「まったく負担は感じなかった」との回答が4割弱であり、負担を感じないとの回答が若干上回った。地区別には、上越市安塚地区では負担を感じなかったとの回答が他地区に比べて多く、上越市高士地区、薩摩川内市大馬越地区で負担を感じたとの回答が多くみられた。
- ・ 参加した活動内容との関係では、大きな差はみられなかった。
- ・ 参加度合いとの関係では、参加の度合いが大きいほど負担を感じたとの回答が多い傾向にあったが、一方で、「ほぼ毎日」参加している人は負担を感じたとの回答が少なく、「数年に1回くらい」の人は参加している人が負担を感じたとの回答が多くみられた。

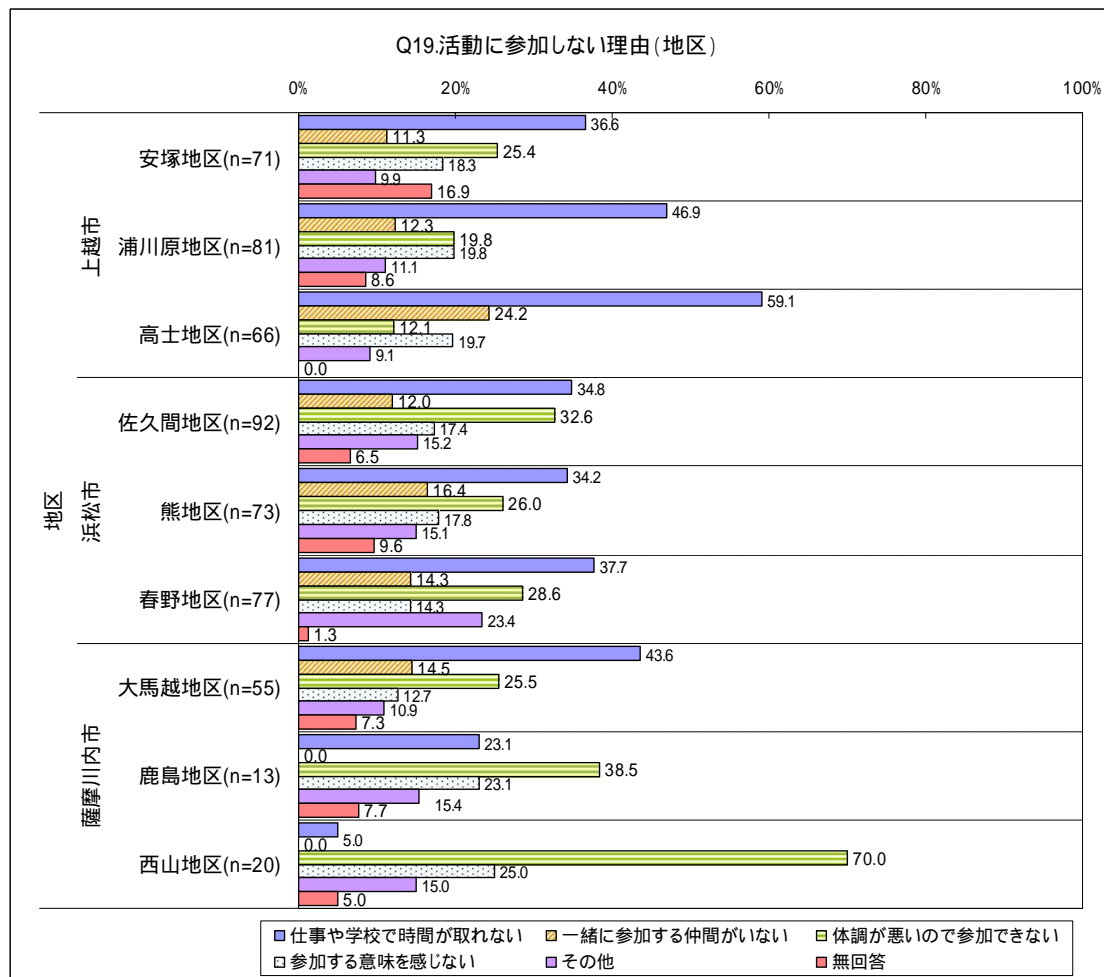






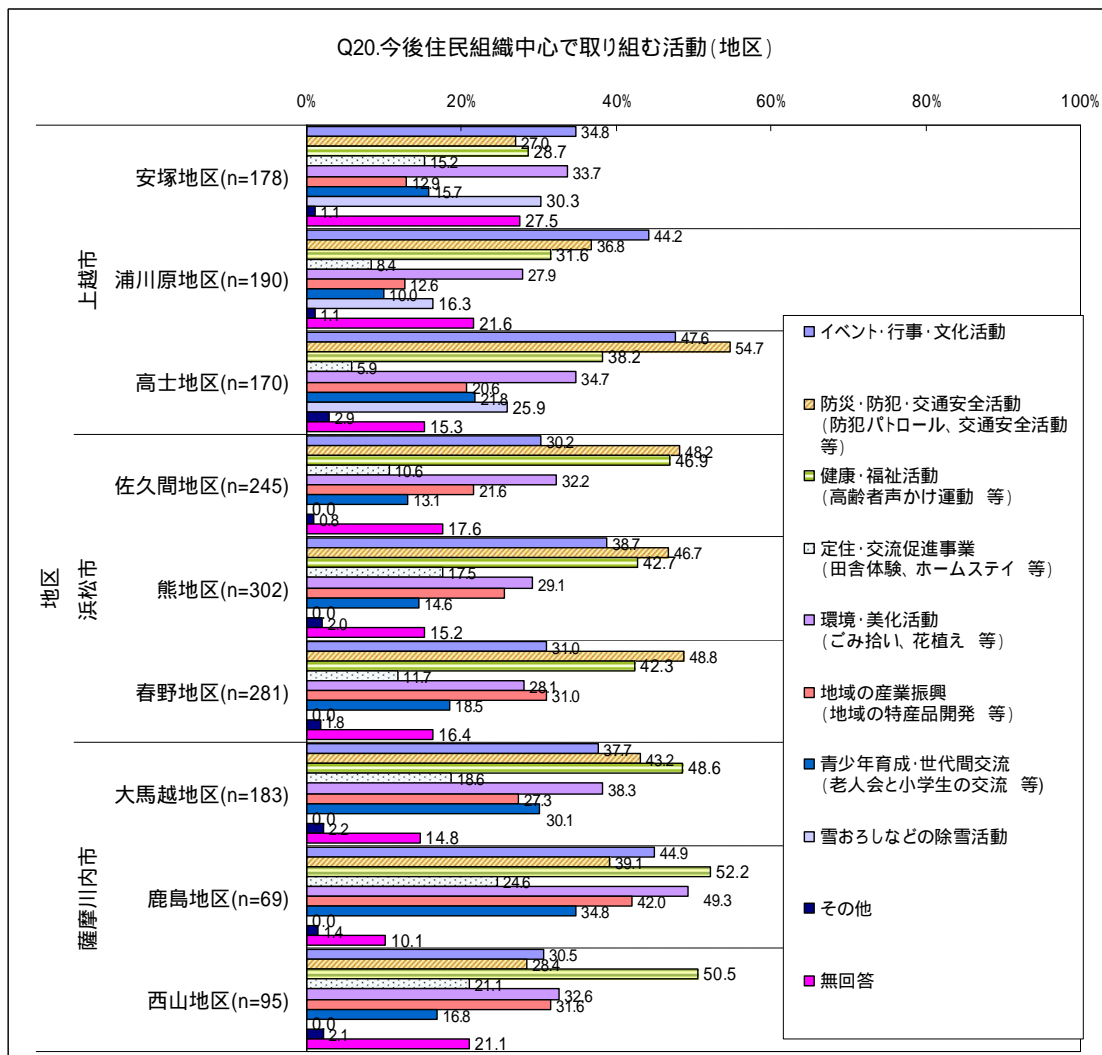
- 2 参加しない理由

- ・ 上越市、浜松市、薩摩川内市大馬越地区では会社員が多かったために「仕事や学校で時間がとれない」との回答が最も多くみられたが、高齢者が多い薩摩川内市鹿島地区、西山地区では、「体調が悪いので参加できない」との回答が多くみられた。
- ・ 「その他」としては、高齢のためという理由が多く、他には、他の家族が参加しているため、いつ活動されているのかわからない、参加機会がない、育児中である、家族の看病・介護がある、などが見られた。



今後 NPO や町内会等の住民組織が取り組むべき活動

- 自治体、地区によって差があり、上越市では「イベント・行事・文化活動」は、浜松市では「防災・防犯・交通安全活動」、薩摩川内市では「健康・福祉活動」が多い傾向にあった。



地域活動を行う団体へのご意見

- 各地域で活動を行う NPO 等に対し、下記のような意見が挙げられた。

活動に対する感想・評価

- 良いと思う。
- 熱心に取り組んでいる。
- 現在の活動を充実し、継続的活動をお願いします。
- ケーブルテレビは誠に良いです。町の中の出来事がよくわかりますので、今後とも頑張ってください。
- 大変ご苦労様です。頑張ってください。
- テレビで活動されている様子が良くわかります。護奮闘下さい。
- 運営されるスタッフの皆様のご苦労有難く思います。
- 大変感謝しております。活動が街おこしの起爆剤になることを祈る。
- あまり参加できなく残念ですが、今後も活動を継続してもらいたい。
- いつもお世話になり申し訳なく有難く思っています。
- 幅広い年代で活動しているので将来性もあり、良いと思う。

- ・ 仕事をしていく上で時間がとれないが、今後は参加したいものがあれば検討していきたい。
- ・ 行事数、内容等は十分だと思う。
- ・ いつも感謝しています。
- ・ 祭り・展示会など広めることも大切だと思います。それから文化や秋の祭りも広場などいろいろとありますが、上越市のことですからよりよいものにしたいです。
- ・ 感謝して居ります。
- ・ 地味でも少しずつ進歩して行って欲しい。活動を止めないで。
- ・ 良くやっている。
- ・ 日頃のご努力に感謝します。願わくは、限界集落の十年後を念頭に置き、若者の住みたくなる町造りに、一石を投じて頂きたい。このままでは、我が町には明日は来ない、かも…。
- ・ ご苦労様です。とってもいいことです。足腰が痛いのです。でも楽しみにしております。
- ・ 今後とも今まで以上の活動をお願いします。
- ・ 福祉タクシーの協力、敬老会等、少しずつ地域に芽生えているので良い。
- ・ いい事だと思います。参加します。
- ・ いつまでも続けて欲しい。
- ・ 益々発展して行く事を祈ります。
- ・ これからも頑張ってください。
- ・ 地域の活性化を強力なパワーで推進して頂いていることに尊敬と感謝をしております。世代交代も考慮に入れ存続して行かれますよう、切に願っております。
- ・ 外から大勢人が来てくれて良い。
- ・ 皆さん積極的に参加され素晴らしいと思っています。今後も頑張ってください。
- ・ 今後長く続けて行って欲しい。
- ・ 大変だがその立場になった人は大変頑張っている。
- ・ なにかと忙しい時代ではあるが常に声かけを心がけ話し合いの場を設けることも大切だと思います。
- ・ コミセン会長・事務局・計画立案に各部長、女性部、近郷の人々の積極的支援により各種行事等広範囲に盛大に行われている。自分の出来る事で参加したいと思っている。
- ・ 毎年素晴らしい企画で実行委員の方々苦労はいかばかりかと思えます。また、特産品の開発は地域の方々の協力のたまものだと思います。これからも頑張ってください。出来る限り協力して行きたいです。
- ・ 頑張っていると思う。
- ・ 地区の委員が協力し、沢山のイベントに協力してコミセン活動が成功している事は嬉しい事です。
- ・ 大変良く活動していると思う。
- ・ 大変良く活動されている。
- ・ 色々な活動にこれからも元気で参加したいです。
- ・ 地区の皆様が協力して前向きに進む事は大変良いと思います。これからも今の気力を持って進んで下さい。
- ・ 大変良く活動している。
- ・ コミセン活動について他地区より比較的活動している情報を耳にする。現況よりも更に活動するよう望む。
- ・ よく活動している。
- ・ 少ない人数で一生懸命取り組んでいる。大変だと思う。協力できる事は協力したい。
- ・ 少ない人数で事務局が本当によく努力されています。
- ・ 少ない人数でたくさんの行事をこなしている事にいつも感心し、又、感謝しています。自分の中では出来る事は(時間)協力したいと思っています。
- ・ よくやっていると思う。地域の人達が参加できようよう工夫すべきである。
- ・ 忙しい中からご苦労様です。皆様(役員さん)感謝しています。
- ・ 母が一人暮らしで自力での日常生活は困難。女房と2人で2ヶ月交代で介護。協議会にはいろんな面においてお世話になっている。
- ・ 今で充分である。
- ・ 地区内の清掃等よくやって頂きまして大変感謝しております。
- ・ 高齢者が大半の地域でコミュニティを運営する方々も高齢である。その中で地域活性化の為に精一杯頑張っている。無理もされていると思う。学校の支援も多用の中で最大にして頂き感謝している。
- ・ 身近な問題を取り上げ安心して暮らせる感がします。

活動の盛り上がり、意欲に対する不満

- ・ 下からの盛り上がりを感じられない。
- ・ 人任せ的な面が多くある(例えば町内会長を利用する等)。自分が汗をかいてやる気があまり見られない。
- ・ マンネリ化している。役員がその気になっていない。
- ・ 特定の人達だけが活動している。
- ・ 地域としての存在が危うい。いわゆる限界集落の真っ直中にあると私は考えます。このことについて、会長を初めとした役員の方々が私と同じ認識を持って事に当たられているか疑問に思われる。現在の一年の行事計画をもってしては地域再生はとてとてもおぼつかない。

組織への参加方法等

<多くの参加>

- ・ 若い人が積極的に参加できる様な組織になる事が必要だと思う。
- ・ 地域の者がもう少し活動に協力する事。
- ・ 一部の人達だけの活動で他の住民の意見も取り入れた方が良い。
- ・ 昔と変わらない事をしているので、若者の声をもっと聞いて進歩していく必要があると思います。
- ・ 農産物の出荷、イベントにもっと地元の人達に来て欲しい。
- ・ あまり住民との接点がない様に思う。しかし多少は地域が潤うかも知れない。
- ・ 現在は町内会長と各種団体の長で組織されているが、女性の参加が少ない。地域の問題を取り上げ、方策を考えあうのであれば、女性の参加数を多くと思う。
- ・ 地域住民がもっと関心をもって関わってもらいたいし、利用してもらいたい。若い人に参加してもらいたい。
- ・ 熱心に検討・企画されていて頼りにしています。若い皆さんが喜んで参加される様な工夫が欲しい。
- ・ イベント・行事等に参加する人数増をどうするか？今後の検討課題だと思う。
- ・ 若い人達が参加しない、関心を示さない。毎日の生活が大変だから収入を伴わない活動には…。
- ・ 住民の考え(意見)を取り上げる事がない(報告のみ)。
- ・ 勤めをしている世代が参加できる様な日時を設定して欲しい。時間はかかるだろうが、負担にならず、自主的に参加できるイベントを計画していけば、交流が出来るのではないかと思います。現在は活動数が多い様に思う。
- ・ 会員の隔々まで情報が行き渡っていない為、どんな目的でどんな活動をしているのかよく分からない部分がある。数人の役員だけでその場が終われば良い様な事ばかり考えているようにしか感じられない。もっと住民(会員)の声を聞くべきだと思う。口先ばかりで行動が見えていないので腹立たしい。
- ・ 一部の活動だけで活動している様な気がします。もっと地域全体で声をかけ合い活動して欲しい。
- ・ 関係者や役員の人達だけが一生懸命されている感じがする。地区の人達全員が子供からお年寄りまでどういう活動をしているか分かる様な説明や声かけが欲しい!!参加して楽しかったと思える様な活動にして欲しい。
- ・ イベント・行事等もう少し地域の参加を望みたい。
- ・ 地域住民の多くの参加が必要(イベント及び地域の特産品の開発など)
- ・ ボランティアで参加ということを徹底して欲しい。活動内容がわかったので再編成をして欲しい。自分の希望する時出来る事の活動参加で。役員の決定では本人の意志を尊重する様に。

#### < 加入方法 >

- ・ 加入単位を個人ではなく全戸加入で運営してはどうか？
- ・ 旧町村の遺産保全を半ば義務づけられながら、旧行政の中核の人達で発案された組織を全世帯参加としたことに違和感を訴える隣人は多い。正社員・賛助といった呼称だけでも考え直したら？
- ・ 各家庭から役員は一人にした方がいいのでは。家族全員役員とか、会長の気に入った人の集まりの様な気がする。情報発信および地域への説明不足

#### < 地域内への情報発信 >

- ・ 活動内容がわからない
- ・ 何をメインで仕事されているのか、イマイチよくわかりません。
- ・ 今もってどんな活動しているかよく分からない。
- ・ 見える活動を願う。
- ・ まだ地元の理解が足りない様に思う。もう少しせつかくの施設だから利用したら良いと思う。
- ・ 会長、理事の人達の活動内容が伝わっていないように思います。どんなことやっていますか？
- ・ 携わっている家庭や人以外は知らない事が多い。
- ・ 組織の中が見えない。うまく話し合いができていない。
- ・ 活動に参加し支援にも余りよい雰囲気ではない。何を考えているのか…参加支援も望まない。
- ・ いまいち理解をされていない。
- ・ 地元での活動は老人に食事を集会所へ運ぶくらいで目に見える活動はない様な気がする。
- ・ 詳しい内容を知らない。
- ・ 組織自体がある事を若い人にも知ってもらおう事(若者は名前を聞いたことすらない人もいます)。活動は十分されているので心強いが、事実上なくなった商店会、青年会、婦人会も人数がごく少なかったり、なくなったり…埋没の一途をたどらない様地区に情報の発信をどしどしして頂きたい。
- ・ 何に目標を置いて活動しているのか？
- ・ あまり活動が良く知らない。
- ・ 活動内容・活動結果がはっきりわからない。
- ・ 行事があまり浸透していない。一部の人の行事になっている。
- ・ 会費を納めているが何に使っているかわからない。
- ・ 月一回の役員会はあるが、我々一般人には何の報告もない。何を話し何をやろうとしているのかさっぱりわからない。これが市のコミュニティの活動か。
- ・ 色々行事を行う場合、地区の誰もが知り得た上で参加・不参加できるようにしてもらいたい。後で知るようなこともあるので。
- ・ 地区の全員に連絡して欲しい。
- ・ 広報活動が不足している。決定事項のアナウンスが足りなくて役員でさえ知らない場合がある。行事の決定がぎりぎりになる場合が再三。
- ・ 個々の活性化事業会計報告をもっと詳しく。

#### <その他情報発信>

- ・ もっと民間の発想をしないと長続きしない。例えば、コンサートのポスターが無造作に貼られているが、「完売御礼」「残席僅か」といった工夫が必要。広報紙ではなく、「加入しませんか」という看板が必要。
- ・ ギャラリーがいつも使用されていません。趣味を発表する場を探している方もいると思います。もう少し宣伝してギャラリー使用料を安くすれば活用され、それを見に来てくれるお客様もあると思います。
- ・ 市外への情報発信をもっとした方が良い。
- ・ 物産展の品揃えが特徴無く面白くない。値段が高い。ホームページにイベントの情報などをしっかりアップして欲しい。

#### 組織体制

#### <外部人材の受け入れ>

- ・ 地区内の人の努力では、いろんな点で限界に来ているのではないか。外部のコンサル等の介入が必要な部分もあると思う。しかし、地元の方々だけであれだけの事をやっているのは素晴らしいことで敬意を表します。
- ・ 他地区からの人材の受け入れ。

#### <担い手の高齢化、後継者確保、担い手の負担軽減>

- ・ いつまでやっていけるのか心配です。
- ・ 働いている婦人達の高齢化等、受け継いでくれる人はいるのか。
- ・ 後継者をどうするかが問題。若い人が少なく定住の人が超高齢になってしまった。さてどうしよう。
- ・ 長く続けてもらいたいが、役員の老齢化が心配になる。
- ・ 大変良い事でご苦労様ですがみんな高齢化すると役員の担い手が心配です。
- ・ 人材確保・育成が困難である。
- ・ 住民の高齢化が進み、役員さんの負担が多くなり、大変になってきています。
- ・ 住民の高齢化により今後自治会活動が続けられるのかと不安を感じます。
- ・ 高齢者の人達を見て無理に参加している人達もいる事があるように見える。可哀想で仕方がない。
- ・ 今後役員の後継者づくりが急務だと思う。
- ・ 自治会・役員の負担が増えていると思う。
- ・ 活動とは別なのですが、役員だからと言って高齢者や健康を損なっている方を何名か見ます。頑張っている姿を見ていると可哀想で何とかならないかなと思います。
- ・ 職員の負担が重い様。

#### <地域に開かれた組織>

- ・ 一部の人の活動の場所ではないでしょうかと思う。
- ・ 地域の組織ですからもっと地域の人々に可愛がって頂ける組織方法でなければ。
- ・ 活動はしているようですが、それもそこだけ上の人達が一生懸命やっているだけで、下の者にまで届いていません。届いたところで協力する人もいないと思います。個人の利益だけを考えて、地区全体の人達の事は何も考えていない様に思います。負担だけがかってきて頭に来る事ばかりです。私もそれで活動に出るのをやめました。もう少しみんなの事を考えて欲しいと思います。
- ・ 役員のための活動である。
- ・ 地域の振興、何をしたいのか不明。活動参加している人だけの会になっている。意味がない。
- ・ 発足して3年たち、役員の人選等行き詰まり等が出ているのでは…。広く浅く作った組織に重点を絞ってエネルギーを集中した方が良いと思います。
- ・ 会長は何故変えられないのですか
- ・ 今は会長選挙はないのか。
- ・ 独裁者的な会になっている。狭い世界で勝手に自由に都合の良い様に決められている。田舎の悪いところだが血系が多い人が選ばれ、身内だけが中心になっている。
- ・ 総会は役員だけでなく広く会員(活動会員、賛助会員)にも通知し開かれたNPO(明朗)、クリーンなNPOに!!と願う。
- ・ 執行部が天狗になっている。

#### <参加者の平等性>

- ・ NPOの会員になっている人と会員になっていない人とほとんど何も変わらないのにとっても不満です。もう少し平等にして欲しいと思っています。
- ・ 直接関わっている人には利点があるが、それ以外の人達には、何の潤いもない。

#### <行政との関係>

- ・ 役所の方々の参加を多くしなければならない。
- ・ 市のいいなりになっています
- ・ 行政からの押しつけでやるのではなく、協議会のアイディアで事業をやるべき。

#### <組織運営について(収支、経費)>

- ・ 組織の活動と施設運営を区別した方が良かったと思う。会計報告もその会合に出なければ分からない。
- ・ もっと合理的な運営方法を考え、経費削減をした方が良いのでは(無駄が多い様に思われる)。
- ・ お金の使い方がずさんな様に思う。一部の人間が勝手に使っている様に思う。地域の人達にかなり批判的な意見が多い。
- ・ 仲よしグループだけで役員をして、役員報酬が多くコミュニティに配られるお金がかなり使用されている。お金が



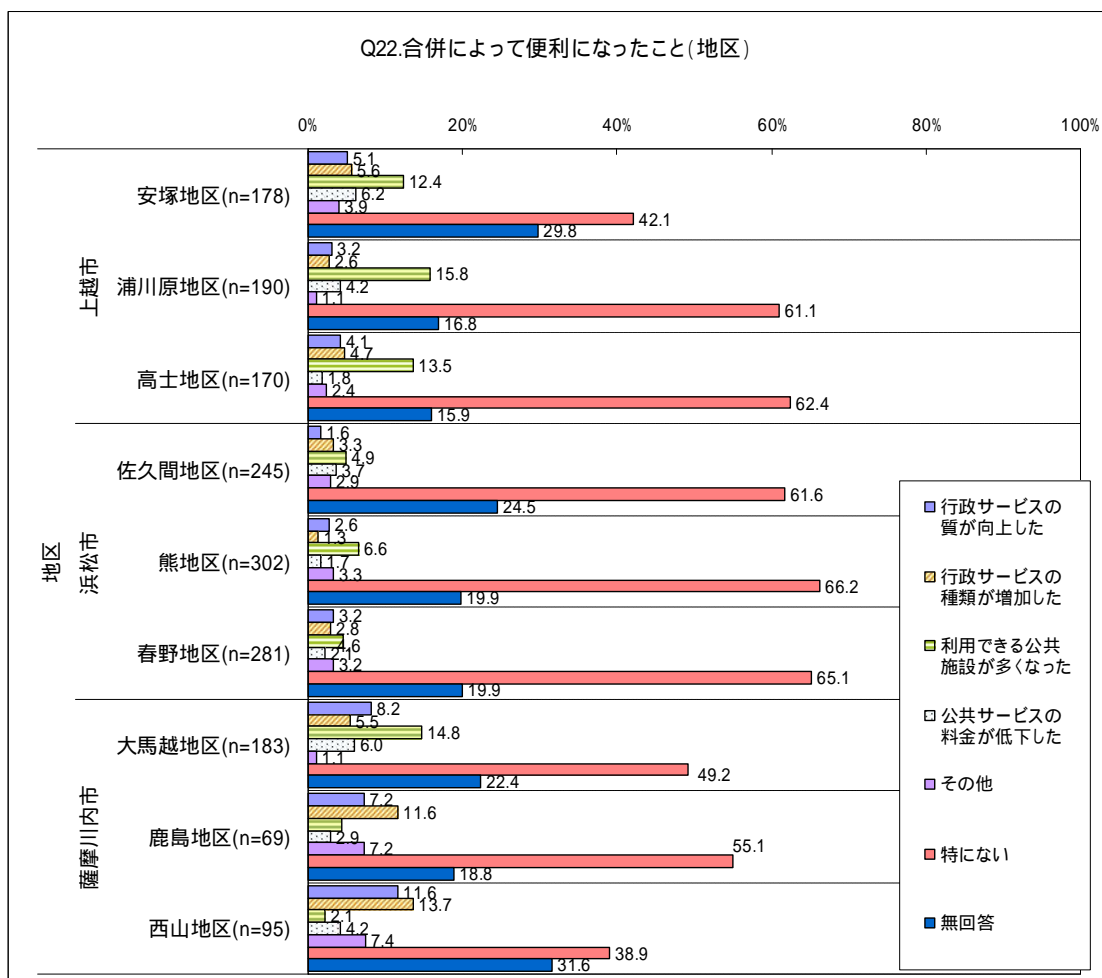
- あるのに、まだ会費などを集めている。やめて欲しい。
  - 本来ボランティア活動は無償であるので利益を追求しない活動をして欲しい。
- 活動内容に対する要望
- 行政の肩代わりの活動だけでなく、各地区に積極的に入り込んだ企画もありではないかと思う。
  - 町中が参加できる大きなイベントをやって欲しい。
  - 行事・文化活動等のレベルアップが必要。
  - 広報に地元の話が出にくくなった。
  - イベントはしなくても生活に困らないが、生活をしていく上で必要な事をして欲しい。草刈りのボランティアのとりまとめなど、地区内でできないことは外へ呼びかけるなど考えて欲しい。
  - もっと活発に自ら地域振興を企画する事。現在は役所の下請けである。諸行事は合併前にやっていたことをうけているのみ。
  - 言っている事と、やっている事が全然噛み合っていない。もう少し未来に向けて活動した方がいいのでは(店、などやっても所詮素人の集まり)勉強する方が...
  - 高齢化になり、高齢者の独居や老々介護のお宅が多くなり、通院や買い物に思うように行けず困っている高齢者が多い。交通の移動サービスや福祉・介護サービスの情報を伝えるなどに力を入れて頂ければ、安心して高齢者が住んでいけるのではと思う。
  - 福祉活動の充実化。農山村であるがゆえ高齢化に伴い足が無いことで交通手段の促進。
  - 営業的な活動ばかりで地域的な事は少ない。
  - 地域に根ざし、地域らしさを失わず、この地域だから出来る内容を考えていってほしい。
  - 地域にとっての一番の問題は人口減です。全ての難問の解決がここにかかっています。豊かな自然の中で市中心部への通勤が1時間という立地を活かして定住人口を増やす活動を積極的に行う事を期待します。
  - 組織の活動に参加した時家まで送ってくれると助かります。
  - 定年退職者に田舎を紹介して人口を増やして下さい。早急に空き家情報を発信して欲しい。
  - 医療バス・福祉バスが土・日は走らないので、タクシーは土・日は走ってほしい。
  - タクシーの利用が予約でなく急に利用したいときに不便。
  - 住民一人一人にとってプラスになる事業の検討。
  - タクシー利用を医療バスの運行出来ない時に利用できる様に特に高齢者の為をお願いしたいです。
  - タクシーを福祉バスの通らない間を利用できる様にしたい。
  - 交通の不便解消
  - タクシーはもう少し時間を幅広げれば尚ありがたい。
  - 運転する人が交代して土曜、日曜日でもタクシーを運転して欲しい。
  - 現在の事業活動に期待が持てない。
  - 高齢者が多くなり活動も大変でしょうが、それなりに全員が参加できるイベント・行事等をお願いします。
- その他
- もっともっと価値観を持つべき。そしてサービス提供。
  - 色々な事に挑戦してほしい。地域に格差が生じないように心遣いをして欲しい。頑張ってください。
  - もう少しお客の気持ちに合う様勉強して欲しい。
  - 住民がそれぞれの能力を生かして地域活動に頑張っているが、高齢化は避けられず、交流人口を増やすことによって地域に活力を生み出したいと思う。
  - 地区住民に対してコミュニケーション活動の情報発信・理解を充分にすること。
  - 生き甲斐づくり活動。この地域に生きる事へのものが求められる。
  - 活動費用に対する助成が必要。
  - 住民全員が関われる様な一人一役。
  - 活動参加への環境作りかも。

(6) 市町村合併による影響

- ・ 市町村合併によって便利になったことがないとの回答が多い。便利になったとの回答の中では、上越市は利用できる公共施設の数の増加、薩摩川内市はサービスの質の向上を挙げる回答が多かった。
- ・ 市町村合併によって不便になったこととしては、地域の要望が通りにくい、行政窓口が遠くなったとの回答が多かった。
- ・ 市内中心部との格差ができることや行政サービス水準の低下を不安に挙げている回答が多かった。

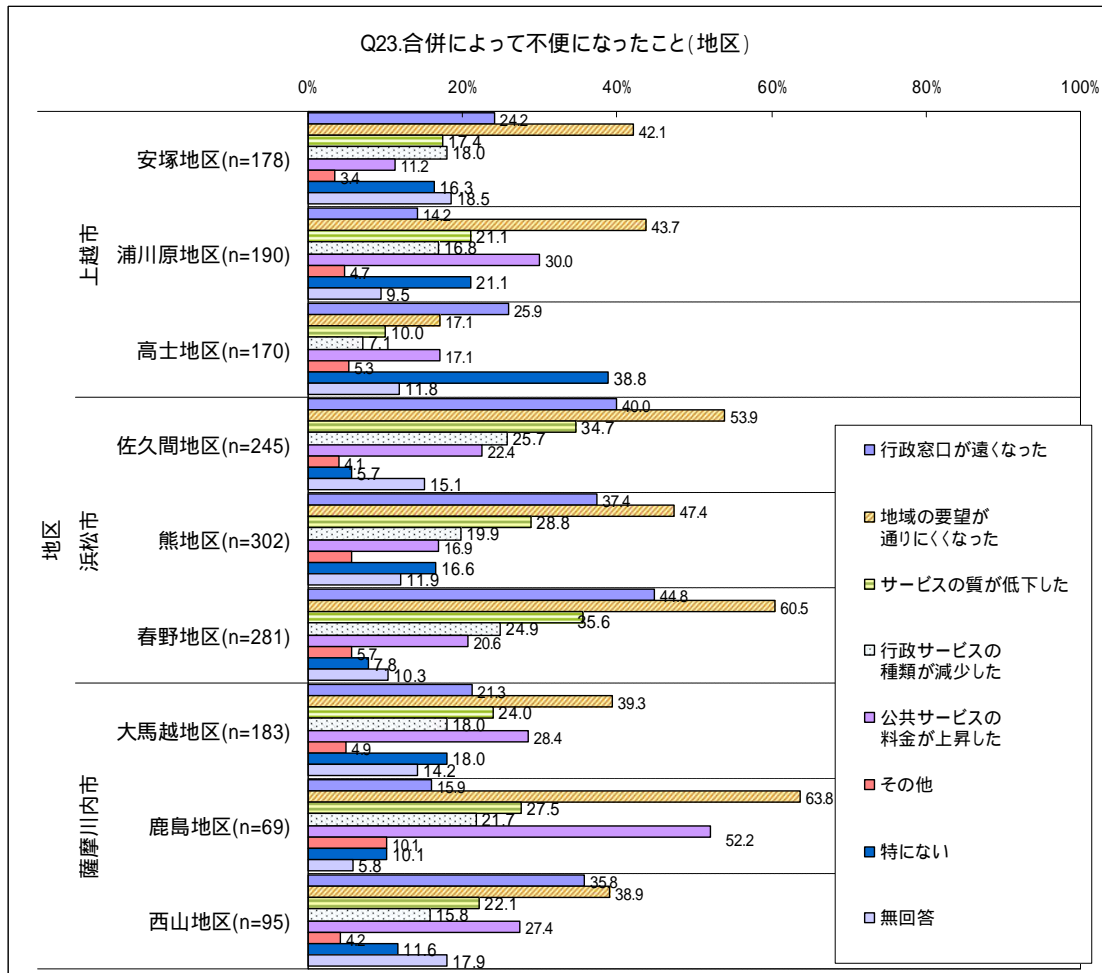
便利になったこと

- ・ いずれの地区でも「特にない」との回答が多くなっている。
- ・ 上越市で「利用できる公共施設が多くなった」とのハード面を挙げる回答が、薩摩川内市では「行政サービスの質が向上した」とソフト面を挙げる回答が他地区に比べて多い傾向にあった。



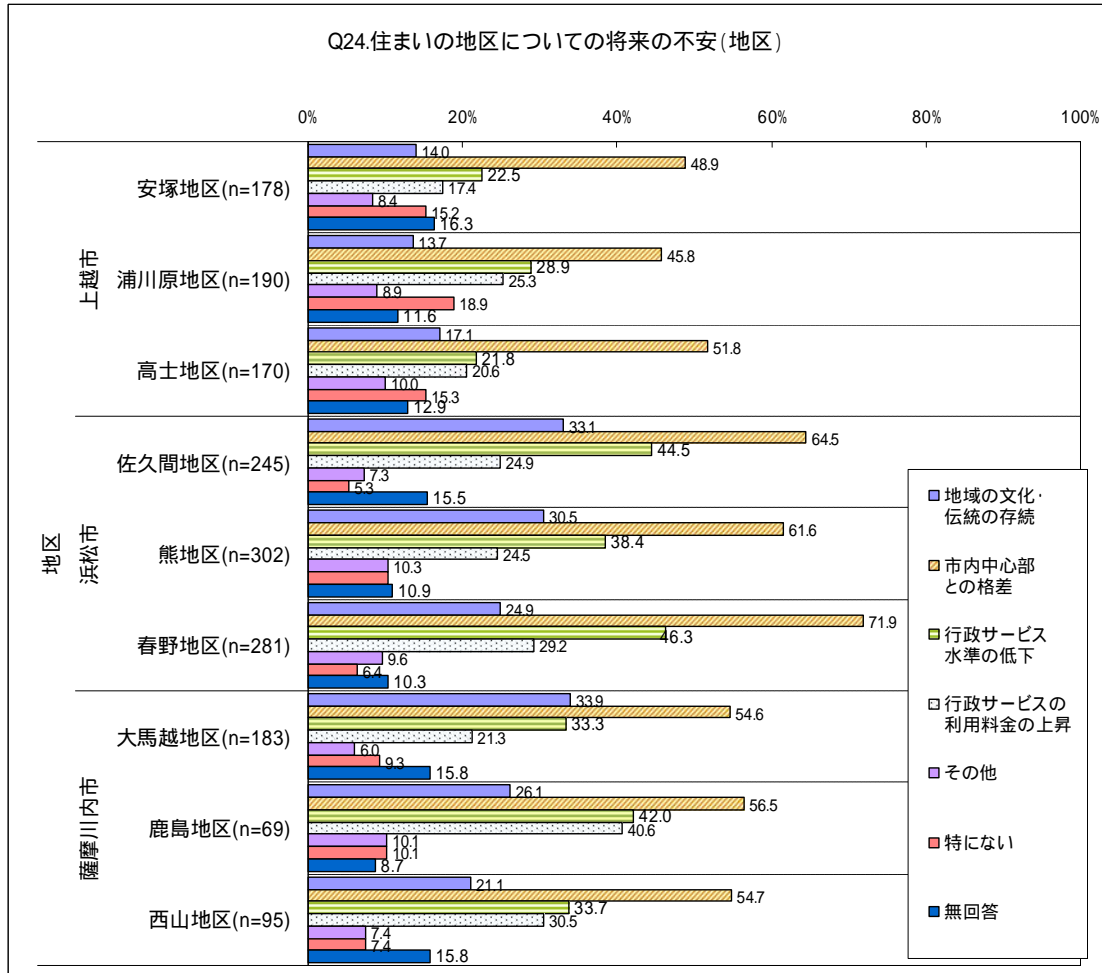
不便になったこと

- ・ 上越市高土地区以外の地区で「地域の要望が通りにくくなった」との回答が最も多く、このほか「行政窓口が遠くなった」「サービスの質が低下した」「公共サービスの料金が上昇した」との回答も多かった。浜松市では「行政窓口が遠くなった」との回答が特に多く、薩摩川内市鹿島地区では「公共サービスの料金が上昇した」との回答が過半数と他の地区より多くみられた。
- ・ 「その他」の回答としては、市の中心部との格差がある、役所がなくなったために若者の雇用の場がなくなった、地域活動への補助が少なくなった、などの回答が複数みられた。



居住地域についての将来の不安

- ・ いずれの地区も「市内中心部との格差」との回答が多くなっており、特に浜松市で多かった。次いで「行政サービスの水準の低下」との回答が多くみられた。
- ・ 「その他」の回答としては、少子化、高齢化、人口減少、集落の過疎化及び存続、生活（商店街、公共施設、機能、サービス）の維持、地域の活力低下、老後の生活についての不安が多数みられた。



(7) 市が行っている地域自治(地域づくり、地域活性化)の取り組みに対しての意見・要望

- ・ 地域自治の取組みに対し、下記のような意見が挙げられた。

住民の意見・要望の行政への反映

- ・ 私達の要望が市に届かない。
- ・ 地域活性化のキーはマンパワーではないか。お金ではない。活動をリードする人材を育てる、増やす必要がある。活動を活性化するには市がその人材に働きかけ、きっかけづくりをして地域に任せる様にして欲しい。
- ・ 住民の要望意見等の把握・集約をどのようにされているか不鮮明。
- ・ 要望書を提出しても奥の方は見向きもしない。格差がひどいです。
- ・ 市は自治会活動等について実情が理解されていない。
- ・ 地域の取り組みに行政の対話がもう少し(細かく)して欲しい。
- ・ 会合等でうまく意見を言えない人の為にアンケートを取るようになってもらいたい。
- ・ 住民の声を聞くこと。

住民への取り組み周知、情報発信

- ・ 取組についての具体的内容を承知していません。
- ・ 取組とは具体的にどんな事をしているのか分からないので意見出来ない。実際どんな事を市はしているんですか？
- ・ 市が行っている地域自治(地域づくり、地域活性化)の取組みわかりません。
- ・ 地域づくりなんてしていない。合併前の方がよっぽど良かった。
- ・ 市と各区が連携をとり、住民にわかりやすく地域自治を教えて欲しい。
- ・ 上の人達が決めるので私たちは直接関わらないので何とも言えない。
- ・ 市の取組みは多様化しているが、それに参加できる人は特定され一般の人は知らない事多し。それが無関心の原因の一つであろう。
- ・ 市は地域づくり、地域活性化の為に何か積極的にされているのでしょうか？
- ・ 他県その他の成功例紹介により、小さな集落でも例を見ながらやる気になるかも。
- ・ 一部地域だけでやっているみたいです。私達は負担金を取られるだけ。そんな感じです。もう少し端から端まで目を向けて全体で参加できる様にしてもらいたいです。
- ・ 市が地域に何の地域づくり、地域活性化事業をしているのかわかりません。
- ・ 市は地域に何をしているのか。自分には何も感じる事がない。何か良くなりましたか？
- ・ どんな地域づくりの取組みをしているのか良く知らない。全国で成功している地域づくりの紹介をすること。
- ・ 他地区の情報が入りできない。他の地区では町広報紙にて入手できた。
- ・ 他地区との交流がまったくないので(情報がないので)何をどうしたらよいのか手探り状態という所が残念です。

組織体制等

- ・ 地域協議会の必要性について疑問がある。
- ・ 地域協議会は不要です。
- ・ もっと任せてもいい部分が多くあるのでは。地区協自体が弱体化する。
- ・ 地域協議会等は良い事である。行政に「ぶらさがり」ではなく、自ら治めることを実施している事は良い。
- ・ 地域協議会制度は良い。
- ・ 行政のリーダーシップ体制づくり
- ・ 役所の方々の参加、考え方に問題あり。区の為と将来を見据え行動・実行に移している方は見受けられません。レベルが低いといつも見ています。
- ・ 地域の声が行政に届く様にするシステム作りは大切と思っている。既存の振興協議会に権限を持たせ、活用できれば、新しい組織は必要ないのではとも思う。地域によって特性がある。一律でない支援を。
- ・ 地域協議会は是非残して欲しい。
- ・ 支所に2名の職員はいらなと思う。
- ・ 地域自治を守る為にもサービスセンターの役割は大きいので「過疎」地域でも必ず残す様にしたい。
- ・ 行政に従事する人の資質が大きく作用します。事なかれ主義が思想の中心になっている様に思われます。公務員は一件の仕事をするのに必ず複数人で事に当たっています。民間ではあり得ません。国会・県・市議会議員の数が多すぎます。
- ・ 支所の職員が毎年少しずつ減り、行政サービスは明らかに低下している。支所職員の「住民に奉仕する」という意識は低いと感じられる。意識改革をするべきであると考えます。
- ・ 若い人達がいらない所では、地域自治の在り方は個人負担が多くて大変です。ボランティアにも限界があるとの事。行政でも理解して頂きたいです。
- ・ 合併して良かったとの実感が持てない。支所廃止の話があるが、なくなれば急速に地域性が失われる。
- ・ 支所廃止をしようとしているらしいが、支所は絶対必要。国からの資金もどこに消えるのかさっぱりわからない？
- ・ 何事も早決せず、検討を長時間行い実施して欲しい。

施策・サービスへの要望

<産業・雇用対策>

- ・ 若者が安心して働ける場の確保
- ・ 仕事がないため若い人も少ないです。もっと考えて欲しいです。市の事より町や村の事も良いところがあります。

考えてやって欲しい。

- ・ 町おこしの産業が欲しい。女の人達が元気になれる活動。若い人達の働く所を増やして欲しい。
- ・ 地場産業育成
- ・ 山間地の産業(農林業)への支援。過疎化対策をお願いします。
- ・ 地域の産業振興に力を入れてもらいたい。
- ・ 地場産業の衰退に歯止めがかからない。具体的な振興策に着手して欲しい。

#### <福祉施策>

- ・ 困っている人に手当てして欲しい。
- ・ 福祉バスの1回100円以内の回数券を作っていったらいいと思う。
- ・ 福祉の充実
- ・ 福祉施設の充実・林業の育成
- ・ 後期高齢者に対してサービスの向上を望む。
- ・ 学校などいろいろな施設が統合されてしまい、住みにくくなってきている。この先、若い人達が住んで行くにはいろいろな施設がなければ人が来ないと思う。高齢者が安心して住み慣れた地域で生活できるように福祉介護サービスも必要だと思う。
- ・ 高齢者の住みよい地域にして欲しい。
- ・ 各家庭にインターネットができるような環境を整え、独居家庭の安否が地域でわかるようになれば、今以上に手助けができるようになると思う。
- ・ 住民の最低限の生活は行政が保障(スムーズに)できる政治制度が必要である。

#### <若者の定住施策>

- ・ 地域を活性化させて人口の過疎化に歯止めをかける良い方法がないものか。
- ・ 老人がいくら頑張っても先がない。なんとしても若者が定住できる環境が先。
- ・ 若い人が定住できる様に仕事、家を施備して欲しい。
- ・ 山間地に定住人口を増やす施策が必要。山間地の農業・林業の税金の大幅を値下げ農林所得の基礎控除2,000万円とする。又、山林の相続税5億円まで無税等の減税。
- ・ 人口増もしくは維持に向けた税的対応が欲しい。
- ・ 若い人が居住できる市営住宅の建設、改築。
- ・ 地域での暮らしに何が一番が見て頂きたい、住民が安心して生活出来る流通の事。地域で利用できる工場とか、そうすることで若い方の定住につなげて欲しいです。
- ・ 一人者が多く出逢い(お見合い)の場所が欲しい。

#### <地域づくりの取り組み>

- ・ もう少し地域の特性を活かした施策があっても良いのではないかなと思う。
- ・ 国・県・市等の取組のみでなく、地域独自の地域造りを考えてもらいたい。独自性をもった取組に期待します。
- ・ 地区が薄れていくようで心配です。何か1つこの地区はこれだと言うものを皆で作って活性化して欲しい。
- ・ 交通機関を充分にいかしてもらいたい。地域の文化・伝統を大切にしたい。
- ・ 各地域の現状を理解して頂き、それぞれの地域に適した地域づくりへの援助が必要と考えます(全市一律は無理がある)。
- ・ 合併時一市多制度による地域の特色を生かした町造りを堅持する約束も、首長の交代劇で一市一制度へと政策が転換され大きな不安を感じます。政令都市昇格に沸く都心と、切り捨てに怯える山間地が格差の感じない行政を願う。
- ・ 地域に対する思いの強さは住んでいる住民にしか理解されないと思うので、市単位の行政の在り方ではなく、地域単位の行政に力を注いでもらいたい。
- ・ 地域の特性にあった自治の活性化
- ・ 地域にあったものを大事にして欲しい。
- ・ 将来像のある取り組みをして欲しい。見捨てないようにして欲しい。
- ・ 懇ろなところもあるように思える。地域の良さを出てるものが欲しい。地域・住民とも努力が求められる。
- ・ 市町村合併により行政中心の指導体制が遠くになり、住民はこの先どのような方向に進んでいくのか不安を強く抱えているのが現状です。もっと身近に行政としてのリーダーシップをとれる人材を配置し、地域活性に取り組むべきです。合併だけして、後は勝手にやりなさいとも無責任(行政が)さを強く感じます。外国に多額の援助している予算をもっと農山村に向けて欲しいものです。
- ・ 地域自治に魅力を感じない。気持ちをワクワクさせる様な取組が減少している。
- ・ コミュニティ活動への補助金の切り下げをやめて、むしろ増加させないと地域活動は停滞すると思います。
- ・ 合併後の地域活性化の取り組みについて考慮が必要。この地域でなくては出来ないもの。

#### <中山間地域への支援、自治体内の地域格差の解消>

- ・ 地域格差が生じない様にして頂きたい。
- ・ 僻地への支援をお願いしたい。
- ・ 政令都市昇格に沸く中心地と、切り捨てに怯える山間地、格差を起こさない政治に期待します。広域大合併の成功をさせる為にも陰の部分を出さない政治の努力を期待します。限界集落は、十年と持たない処まで来ています。
- ・ どの地域も同じサービスというのは格差が生じる。地域にあった対応を。
- ・ 田舎を見捨てないで欲しい。
- ・ 都市と田舎の地域差を考えての行政を将来不安に感じる。

- ・ 山村を切り捨てるな。
- ・ 限界集落になる部落に力を差し伸べて欲しい。
- ・ 「平等」という名の「地域差別」はやめてもらいたい。地域によって文化歴史が違う。それを尊重した自治を考えて欲しい。
- ・ 環境の維持を中山間地に押しつけて、市街地の人の多量の水の使用を見過ごしている。全て金銭評価で経営する企業的なポリシーで行政するのは一考して頂きたい。
- ・ 市が合併した事により市の事業が遠くなった事が感じられます。田舎に住む者は取り残されている様な感じがします。
- ・ 市内中心部との格差がどんどん広がっている。田舎にももっと目を向けてもらいたい。予算が減っているので個人への負担が増えている。
- ・ まず、市内中心部とのその他の地域との格差を無くすことに努力して欲しい。
- ・ 都市部中心の行政が多く、山間部の人達の生活が切りつめられ、生活しにくくなっている。その地域にあった細かい行政を望む。
- ・ 各地域に根ざした(単に一律サービスではない)取り組みをすべき。特に山間地は区の権限を強くすべき。
- ・ 人口の少ない山間地の人間を見捨てるな！
- ・ 美しい山里を見捨てないで下さい。
- ・ 田舎と市内の格差がありすぎ(道等)。
- ・ 市内との格差が大きく、市内を中心とした行政のやり方に不安・不満を感じる。行政は田舎の生活をまったく理解していないと感じた。
- ・ 農地の放棄や空き家が増える過疎の対策をして欲しい。自治会の合併も必要では。
- ・ 合併して良かったとの実感がわからない。平等の原理を相容れられないリスクが常に存在する地域である事を何時も頭において自治を治めて欲しい。

#### <インフラ整備>

- ・ 道路をよくして欲しい。国道を直して欲しいです。
- ・ 市中心と山村地域の格差を少しでも無くす為に道路の整備が先ず第一に考えられる。
- ・ 山間地であり市の水道事業をもう少し早くやって欲しい。
- ・ 電車の本数を増やして欲しい。
- ・ 駅の近くに無料駐車場を確保して欲しい。民に援助することはダメという人もいるが、地球温暖化を前面に出せば問題はないと思う。
- ・ 地域活性化の為に国道の整備が欠かせません。又災害が発生した場合、地域が孤立するのではと心配しております。すれ違いもできないような国道を未整備のままにしないで下さい。
- ・ 国道の2車線化で地域活性化が出来る。大型車が通る事が出来ない道路では活性化が出来ない。
- ・ 農業用水路の改修
- ・ 農業用水路の改修等も県と交渉を依頼出来る様にして欲しい。
- ・ 高速船を就航して欲しい。
- ・ 橋の建設を早くして欲しいです。
- ・ 海水浴場に漁業倉庫、シャワー施設を造って欲しい。

#### <公共的な施設の整備>

- ・ 資料館や美術館はその地区に固有で目先の経済効率では図り得ない大切なものですから、統合や廃止は行わないで下さい。
- ・ 旧市の公共施設を山間地にも同じように建設して欲しい(大規模な図書館・スポーツ施設(体育館・グラウンド))。
- ・ 高齢者の多い土地柄なので、高齢者が他へ移住せず安心して残れるよう多機能な老人ホームを誘致して欲しい。

#### <地域行事>

- ・ 町民の認知度が低いと思います。やはり町中参加のイベントを考えてください。
- ・ それが必要なのかどうか検討する事から新たにスタートして欲しい。例年やっているからではなく、取捨選択して住民に本当に参加したいと思える行事等を計画して欲しい。
- ・ 行事の数ではなく、必要なものを計画して欲しい。

#### <行政サービスの充実>

- ・ 末端集落の冬の除雪サービスについては今後も内容を下げることなく継続して欲しい。
- ・ 図書館の休みを違う日にして下さい。福祉バスが出ていますが休みなので利用出来ません。
- ・ 幹線道路が国道しかないので、冬の除雪体制を強化して頂き、無雪化(ヒートパネル等)など取り組んで欲しい。そうする事によってこの地域の冬の生活がずいぶん明るくなると思う。
- ・ 保育料も給食費も子供の医療も合併した市と同じになるなんて面白くない。考えて欲しい。孫の為。
- ・ 地域にカルチャーの講座が少ない。あっても公共(バス・電車)での移動ができない。
- ・ 福祉・病院バスを有料にして長く安心利用したいです。
- ・ 病院バス・福祉バスの料金を利用する人たちから(回数券)などで少し出費してもらえば町への負担金が少し入るし、長くこれからもバス利用ができるのではないかと思います。安心して。
- ・ 健康づくりの為、一番身近な小学校の体育館で何か活動があると良いと思う(例えば、ヨガ・呼吸法・ストレッチ...など)。
- ・ 現在の支所の有効活用法を住民のためにお願いしたい。



<その他要望>

- ・ 河川に昔の様に鮎が捕れる様天然の稚魚が溯上出来る様に魚道をつくって欲しい。
- ・ 港・海岸・道路にいらなくなった鉄材、漁網、漁船(てんま等)が放置されている。大型粗大ゴミの処理がなされていない。

その他感想等

- ・ 山奥で住んでいますが道路除雪して頂き有難いです。
- ・ 市役所職員の実績成績の為の案件が多い(町内実行不可能な案件)。
- ・ 敬老会が行われる事が一番嬉しく思う。まだ私は来年から参加しようと思っているけれど…。和やかでいいなあと思う。
- ・ 全く希望していない！働く場所がない。若者はいない。今更何をしてもムリ。
- ・ 取り組みをしている実感が無い。
- ・ 前より取り組みが悪くなった。
- ・ 特産品の開発や地域交流にしても最終的には経済効果として数値を残さねばならず、ホームステイなどの効果はそのときの児童が大人になった頃効果が現れるようなものである。
- ・ 市行政は地域の事を見捨てている。
- ・ 高齢者ばかりで農地は崩壊して地域づくり、地域活性化の取り組みはできないと思う。転出する若者が多い。
- ・ 合併以前より補助金等が大幅に減少し地区住民の負担が大きくなって来た。この傾向は今後益々増加すると思う。事業助成についても同様と思われ心配している。
- ・ 合併してからの山間地は不便・不利なことばかりで、これからも益々その方向に行くのではないか心配です。
- ・ 市が地域活性化を行っているのなら、小学校統合はあり得ない。
- ・ 活性化するに当たって働く女性が家庭と子供とを守りながら働ける状態になる施設があれば収入が増すことに景気も良くなる気がします。交通の便でも距離に問題なく住居を増やして人々を増す事に適していると思います。30分かけての仕事についている人は多いと思うので何しても温泉もあるのにこの地域にも負けている感じですね、頭の固い人が多いのでは20年は他の町より遅れている感じです。
- ・ 中心地にすべて集約され、地域の特性が失われつつある。
- ・ 合併は間違いであった。
- ・ 人口が少なくなり(若者)今後の活動も大変だと思ふ。
- ・ 若者の流出が多く、老人社会では活性化が無理な状態となってきていますので、よりよい方法を考えて欲しい。
- ・ 地域で敬老会を立派に催してください。有難いことです。
- ・ 山間部で頑張っています。市の応援を宜しくお願い致します。
- ・ 利用数が少ないから減便する、子供が少ないから統合(廃止)する、学校使わないから廃止するという行政では今後中心部は益々栄え、山間部は益々衰えと思ふ。合併は今の所山間地程不安材料が多くなった様に感じます。
- ・ 合併により過疎化が進行し、高齢化・少子化も益々進行していつている。学校の廃校・統合も進行することが予想される。
- ・ 道路事情も悪く、過疎化と高齢化が進むばかりで辛いですね。
- ・ 地域の格差があって当たり前前の考え方があり、何を言っても駄目だとの諦めムードが活性化に悪影響を与えている様に思う。
- ・ 旧町村にまで本当に目を向けてくれているかどうか？
- ・ 地域内で職を得られない事が全てに繋がっている。生活できなければ外に出て行くしかない。
- ・ 良い社会を作る様努力しましょう。
- ・ コミュニティ制度を作り地域の声をよく反映出来る仕組みができています。補助制度も真に必要な者に交付される制度もあり、良いと思う。コミュニティ制度ができて大変良かったと思っている。
- ・ 地域活性化の活動は良いのだが高齢者が多く参加できる状態が少なくなる。
- ・ 活性化するに当たって働く女性が家庭と子供とを守りながら働ける状態になる施設があれば収入が増すことに景気も良くなる気がします。交通の便でも距離に問題なく住居を増やして人々を増す事に適していると思います。30分かけての仕事についている人は多いと思うので何しても温泉もあるのにこの地域にも負けている感じですね、頭の固い人が多いのでは20年は他の町より遅れている感じです。
- ・ 若者の定住!!福祉活動等も大切だが、今現在、県外就職に出て行くひとばかり!!このままじゃ高齢者のみの地域になるのでは??そうになったら文化活動、文化財になっている踊り等、次に伝える者がいないとなくなるばかり…。若者の力もいるのでは?他地域から逆に田舎に住む、住みたいと思わせるのも大切では?そうしたら上の活動も盛り上がるのでは?...?人口も増えれば地域活動も活性!!施設等もいろいろふえるのでは?人口が増えても又、他に問題もでてくるでしょうが...
- ・ 実態を見ずに、市全体で平均化をはかるうとしても無理がある。
- ・ 合併前の時は平等といいながら、実際合併してみると格差があり、以前よりか生活が不便になった。
- ・ 大きな町だけ伸びて小さな町は前より貧乏になっていく様だ。
- ・ タクシーがないので大変困る。救急の場合など手遅れになる。身体に危険。何時も病院入院の時困りはてている。
- ・ 超後期高齢により地域の活動等困難である。

## 「地域における生活機能に関する住民アンケート調査」のお願い

みずほ情報総研株式会社  
新潟県上越市  
調査委託：国土交通省

### 【ご回答にあたって】

#### 1. 調査の趣旨

みずほ情報総研(株)では、国土交通省からの委託により、人口減少・大合併時代における地方の農山漁村地域の維持を担う組織およびその活動のあり方について調査を行っております。本アンケート調査は、調査モデル都市となった上越市・安塚区の一部の住民の方々の生活サービスに関する満足度や要望、日常生活の行動圏域、地域活動への参加意向を把握することで、農山漁村地域において NPO 等の住民組織が生活サービス提供の活動を行う際の活動方法（活動内容、対象とする範囲など）の参考とすることを目的として実施するものです。

#### 2. 回答の対象

この調査は上越市企画・地域振興部のご協力を得て実施しております。アンケート用紙は、同じものが3通同封されています。世帯の人数に応じて下表の通り回答してください。さまざまな世代の方の意見をお聞きしたいため、できるだけ世代の離れた方が回答してください。回答の対象は高校生以上です。

世帯の人数 (高校生以上の人数)	回答者数	注意事項
1人	1人が回答	記載していない調査票は同封せずに捨ててください。
2人	なるべく2人が回答	
3人	なるべく3人が回答	
4人以上		できるだけ世代が離れるように回答者を選んでください。

#### 3. 返信期限、方法

記入した調査票のみを封筒に入れて返信してください。お手元に届いてから1週間以内を目安に、なるべくお早目に投函してください。(郵便料金はかかりません)

#### 4. 問い合わせ先など

アンケートの回答方法等についてのお問合せは、下記担当者までお願いいたします。ご回答いただいた内容は統計的に処理をしますので、個々の回答内容がそのまま公表されることはございません。また、この結果を本調査以外の目的に使用することも一切ありません。ご協力よろしくお願いいたします。

#### 5. 問い合わせ先

みずほ情報総研(株) 社会経済コンサルティング部 社会マネジメントチーム

「地域における生活機能に関する住民アンケート調査」担当：藤井・金澤・熊谷・村井

〒101-8443 東京都千代田区神田錦町 2 - 3

電話 03-5281-5404、ファックス 03-5281-5443

「地域における生活機能に関する住民アンケート調査」調査票

	上越市	安塚区
--	-----	-----

**太枠内** の該当する選択肢の番号に をつけてください。

問 1 . ご回答いただいているあなたご自身についてお答えください。( は1つ)

(Q1)年代	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70才以上
(Q2)性別	1. 男性 2. 女性
(Q3)職業	1. 学生 2. 会社員 3. 自営商工業 4. 農林水産業 5. 公務員・団体職員 6. 無職 7. 専業主婦・主夫 8. パート・アルバイト 9. その他( )
(Q4) (ご自身も含む) 同居家族の人数	1. 1人暮らし 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上
(Q5) 地区内の居住歴	1. 5年未満 2. 5~9年 2. 10~19年 3. 20~39年 4. 40年以上
(Q6) 今後の居住予定	1. 今後ずっと住み続ける予定 2. 他地域へ転居する予定がある 3. 具体的予定はないが他地域へ転居したい 4. わからない

問 2 . 交通手段の利用状況、公共交通の利便性についてお答えください。( は1つ)

(Q7) 最も利用する交通手段	1. 徒歩・自転車 2. 自分が運転する車 3. 家族が運転する車 4. 近隣の方の車に同乗 5. バス 6. 鉄道 7. タクシー 9. その他( )		
(Q8) Q7 で選択した交通手段を利用する頻度	1. ほぼ毎日 2. 週3~5回 3. 週に1~2回 4. 月に2,3回 5. 月に1回 6. 2,3ヶ月に1回 7. ほとんど利用(移動)しない		
(Q9) 地域内の公共交通の利便性	(Q9-1)バス	1. 便利 2. やや便利 3. やや不便 4. 不便	
	(Q9-2)鉄道	1. 便利 2. やや便利 3. やや不便 4. 不便	

問 3 . 日常生活の行動範囲についてお答えください。( は1つ)

(Q10) 日常生活でよく利用する施設の位置	(Q10-1)買物	1. 徒歩の範囲(自宅から1km以内) 2. 町内会区域内 3. 旧安塚町内 4. 上越市内 5. 上越市外
	(Q10-2)病院	1. 徒歩の範囲(自宅から1km以内) 2. 町内会区域内 3. 旧安塚町内 4. 上越市内 5. 上越市外
	(Q10-3) 通勤・通学	1. 徒歩の範囲(自宅から1km以内) 2. 町内会区域内 3. 旧安塚町内 4. 上越市内 5. 上越市外 6. 通勤・通学はしていない

問4 .日常生活する上での満足度(生活機能・サービスの面から)についてお答えください。

(Q11) 安塚区における 生活機能・サービスの満足度 は1つ	(Q11-1)買物	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
	(Q11-2) 医療(病院)	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
	(Q11-3) 福祉・介護	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
	(Q11-4) 公共交通	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
	(Q11-5) 文化・教育 (図書館等)	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
	(Q11-6)除雪 (道路及び宅内)	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
(Q12) Q11で、 「3. やや不満」 又は「4. 不満」 を回答した方 にお聞きします。  生活機能・サービスでどのような ことが不満ですか  はいくつでも	(Q12-1) 買物	1. 交通不便なところにある 2. お店がない・数が少ない 3. 品揃えが不十分 4. 品物の質が不十分 5. 価格が高い 6. その他( )			
	(Q12-2) 医療(病院)	1. 交通不便なところにある 2. 施設がない・数が少ない 3. 総合病院が近くにない 4. 診療可能な科目が限られている 5. その他( )			
	(Q12-3) 福祉・介護	1. 交通不便なところにある 2. 施設がない・数が少ない 3. サービスの種類が少ない 4. サービスの質が不十分 5. 利用料金が高い 6. その他( )			
	(Q12-4) 公共交通	1. バス停・駅が不便なところにある 2. 路線がない 3. 運行本数が少ない 4. 乗り継ぎが悪い 5. 料金が高い 6. その他( )			
	(Q12-5) 文化・教育 (図書館等)	1. 交通不便なところにある 2. 施設がない・数が少ない 3. サービスの量が不十分 4. サービスの質が不十分 5. 料金が高い 6. その他( )			
	(Q12-6)除雪 (道路及び宅内)	1. 除雪回数が少ない 2. 1回の除雪量が不十分 3. 料金が高い 4. その他( )			
(Q13) 地域に今後充実 させることが必要 だと思える生活 機能・サービスは どれですか  はいくつでも	1. 交通・移動サービス 2. 配食サービス 3. 保育サービス 4. 介護サービス 5. 独居高齢者の見守りサービス 6. 緊急通報サービス 7. インターネットやケーブルテレビの接続サービス 8. 除雪サービス 9. その他( ) 10. 特にない				
(Q14) お住まいの集落 で現在実施して いる共同作業は どれですか  はいくつでも	1. 農作業 2. 冠婚葬祭 3. 山林・農地の管理 4. 集会場の管理 5. 道路などの維持管理 6. 伝統行事・祭りやイベント 7. その他( ) 8. 特にない				

問5. NPO 雪のふるさと安塚等が行う地域づくり活動についてお答えください。

(Q15)この組織をご存知ですか は1つ	1. 知っている 2. 知らない	
(Q16)地域の情報は 何から得ていますか はいくつでも	1. 回覧板 2. NPO 雪のふるさと安塚の配布物 3. 市の広報誌 4. 市や組織のホームページ 5. 新聞 6. テレビ・ケーブルテレビ 7. 集落内の掲示板・案内板 8. その他( )	
(Q17) 活動に参加したことは ありますか は1つ	1. 参加したことがある	2. 参加したことはない 2. に を付けた方はQ19にお進みください NPO 雪のふるさと安塚が行う活動に限らず、町内会等が行う活動も含まれます。
(Q18) Q17で「1. 参加したことがある」を回答した方にお聞きします	(Q18-1) これまでどのような活動に参加されましたか はいくつでも	1. 組織運営にかかる事務・話し合い 2. イベント・行事・文化活動 3. 防災・防犯・交通安全活動 (防犯パトロール、交通安全活動 等) 4. 健康・福祉活動(高齢者声かけ運動 等) 5. 定住・交流促進事業(田舎体験、ホームステイ 等) 6. 環境・美化活動(ごみ拾い、花植え 等) 7. 地域の産業振興(地域の特産品開発 等) 8. 青少年育成・世代間交流(老人会と小学生の交流 等) 9. 雪おろしなどの除雪活動 10. その他( )
	(Q18-2) どのくらい参加していますか は1つ	1. ほぼ毎日 2. 週に1~2回くらい 3. 月に1~2回くらい 4. 2,3ヶ月に1回くらい 5. 年に1,2回くらい 6. 数年に1回くらい
	(Q18-3) 参加して良かった点 はありますか は1つ	1. 趣味が増えた・生きがいがあった 2. 郷土について改めて知ることができた 3. 以前よりも体調が良くなった 4. 新しい仲間ができた、付き合いが深まった 5. 人や郷土のために貢献することができた 6. その他( ) 7. 参加して良かったと思うことはない
	(Q18-4) 活動にやりがい はありましたか は1つ	1. やりがいがあった 2. どちらともいえない 3. やりがいがなかった
	(Q18-5) 参加することは負担に 感じましたか は1つ	1. かなり負担を感じた 2. やや負担を感じた 3. どちらともいえない 4. 負担はほとんど感じなかった 5. まったく負担は感じなかった

<p>(Q19) Q17で「2.参加したことはない」を回答した方にお聞きします</p>	<p>活動に参加しない理由は何ですか はいくつでも</p>	<p>1. 仕事や学校で時間が取れない 2. 一緒に参加する仲間がいない 3. 体調が悪いので参加できない 4. 参加する意味を感じない 5. その他( )</p>
<p>(Q20) 地域で今後、NPO や町内会等の住民の組織が中心となって取り組むべきと思われる活動は何ですか はいくつでも</p>	<p>1. イベント・行事・文化活動 2. 防災・防犯・交通安全活動（防犯パトロール、交通安全活動 等） 3. 健康・福祉活動（高齢者声かけ運動 等） 4. 定住・交流促進事業（田舎体験、ホームステイ 等） 5. 環境・美化活動（ごみ拾い、花植え 等） 6. 地域の産業振興（地域の特産品開発 等） 7. 青少年育成・世代間交流（老人会と小学生の交流 等） 8. 雪おろしなどの除雪活動 9. その他( )</p>	
<p>(Q21) NPO 雪のふるさと安塚の活動に対してご意見がありましたらご記入ください</p>	<p>( )</p>	

問6. 市町村合併後の生活環境の変化についてお答えください。

<p>(Q22) 市町村合併によって便利になったことはありますか はいくつでも</p>	<p>1. 行政サービスの質が向上した      2. 行政サービスの種類が増加した 3. 利用できる公共施設が多くなった      3. 公共サービスの料金が低下した 4. その他( ) 5. 特にない</p>
<p>(Q23) 市町村合併によって不便になったことはありますか はいくつでも</p>	<p>1. 行政窓口が遠くなった      2. 地域の要望が通りにくくなった 3. サービスの質が低下した      4. 行政サービスの種類が減少した 5. 公共サービスの料金が上昇した 6. その他( ) 7. 特にない</p>
<p>(Q24) お住まいの地区についての将来の不安はありますか はいくつでも</p>	<p>1. 地域の文化・伝統の存続      2. 市内中心部との格差 3. 行政サービス水準の低下      4. 行政サービスの利用料金の上昇 5. その他( ) 6. 特にない</p>

問7. 市が行っている地域自治(地域づくり、地域活性化)の取り組みに対して何かご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。